

(3) 高等学校

県立 一関第一高等学校 URL: http://www2.iwate-ed.jp/ic1-h/	〒021-0894 一関市磐井町9-1 TEL : 23-4311 FAX : 23-4661	校長：里 籠 文 彦 (全日制) 副校長：三 浦 顯 昌 (定時制) 佐 藤 宣 昌 (定時制) 教職員数：全日制 45名 定時制 8名 職員数：53名 生徒数：全日制596名 定時制23名 学級数：全日制 15 定時制 4
	教育目標 岩手で、日本で、世界で活躍するリーダーの育成	
沿革 本校は、明治31(西暦1898)年に岩手県一関尋常中学校として創設された。現在の校名に改称され、定時制課程が併設されたのは昭和23年であった。昭和25年には商業科が設置されたが、47年に同科の募集は停止となり、新たに理数科が設置され現在に至っている。 平成16年には、選抜高等学校野球大会で「21世紀枠」に選ばれ、49年ぶりに甲子園大会出場を果たした。平成19年には県内に誇る最新式設備を備えた新校舎が完成した。 また、平成21年には、県内初の併設型中高一貫校となり、同じ敷地内で高校生と中学生がともに学んでいる。	特色ある教育活動 (全日制) 1. 1年生は普通・理数科として募集しているが、2年生からは生徒の多様な進路に対応するため、2つの学科(普通科・理数科)と、普通科の中に3つのコース制(文Ⅰ・文Ⅱ・理系)を設けている。 2. 「文武両道」を具現化するため、50分7校時授業を実施し、授業時間の確保と、部活動・委員会活動等の充実を図っている。また、生徒会主催の行事についても、多様な行事を企画・実施している。 3. SSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)に指定され、国際科学技術関係的な人材の育成に取り組んでいる。 (定時制) 1. 『生きる力』を育むため、「総合的な探究の時間」に学校と地域社会を結ぶ様々な体験学習を年10回程度実施している。 2. 45分授業を実施し、放課後に「バドミントン」等の部活動を実施している。	

県立 一関第二高等学校 URL: http://www2.iwate-ed.jp/ic2-h/	〒021-0041 一関市赤荻字野中23-1 TEL : 25-2241 FAX : 25-5432	校長：石 井 美 樹 子 副校長：千 葉 美 春 教職員数：66名 生徒数：584名 学級数：15
	教育目標 真理と正義を愛し、自主的精神と強い意志を持ち、豊かな創造力に富む人間の育成をめざす。 (1) 個性の尊重と調和 心身の健全な発達をはかり、個性を磨くとともに、社会の一員として調和のとれたたくましい人間を育成する。 (2) 自主と自立 主体的、意欲的に学習する態度を身につけ、真理を探究し、社会に貢献できる人間を育成する。 (3) 豊かな感性と創造力 豊かな感性と創造力に富んだ、意欲あふれる人間を育成する。	
沿革 明治40年5月、郡立西磐井女子職業学校として創立。その後大正8年に県に移管され、一関実科高等女学校となり、その後一関高等女学校と改称される。昭和23年には一関第二高等学校となり普通科、農業科、土木科の学科を持つ総合高校として男女共学でスタート。昭和43年に農業科、生活科が一関農業高等学校として分離独立。さらに昭和53年には土木科が分離し、一関工業高校へ移管になる。 平成2年になり福祉教養科が新設される。平成16年に旧一関農業高校と統合し、総合学科が新設され、総合学科高校として新一関第二高校が開校する。平成29年に創立110周年を迎えた。	特色ある教育活動 (1) 学習活動 総合学科高校として19年目を迎えて、より一層進路に応じた各系列の整備を推進し、多様な進路目標の実現を可能にする学習活動を展開。また、旧農業高校の流れを汲んだ「収穫祭」等の行事や福祉教養化の流れを汲んだ「施設学習」も学習活動の一環として継続している。 (2) 多彩な学校行事 クラスマッチや二高祭、関西方面への修学旅行と多彩。また卒業式における全校生徒による「第九」合唱は、合唱の町「一関」を象徴する伝統として継承されている。 (3) 盛んな部活動 フェンシング部・陸上競技部・サッカー部・卓球部をはじめ活発な運動部、音楽部・吹奏楽部・理科研究部・太鼓道場部等実力のある文化部、ともに活動が盛んである。	


<p>県立 一関工業高等学校 URL: http://www2.iwate-ed.jp/ict-h/</p>	<p>〒021-0902 一関市萩荘字釜ヶ淵50番地 TEL: 24-2331 FAX: 24-4540 E-mail: ict-h@iwate-ed.jp</p>	<p>校長: 菅原 基 副校長: 及川 秀明 教職員数: 43名 生徒数: 339名 学級数: 9</p>
	<p>教育目標 スペシャリストとしての基礎力（学力・人間力）を充実させる。生徒の「知・徳・体」をバランスよく育み、将来、社会人としてたくましく生きていくことができる総合的な人間力を育成する。 (1) 自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力。 (2) 自らを律しつつ、他人と強調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性。 (3) たくましく生きるための健康・体力。</p>	
<p>沿革 昭和34年、一関市立工業高等学校として電気科と電気通信科の2学科で開校、昭和49年には岩手県立一関工業高等学校となり、昭和53年には一関第二高等学校から土木科が移管、昭和62年には電子機械科が設置され、電気科・電子科・電子機械科・土木科の4学科となり、令和2年度には電気電子科・電子機械科・土木科の3学科の工業高校として現在に至っている。 同窓生は9千人を超え、両磐地区は及ばず広く県内外に有為の人材を輩出し、まさに工業立国日本を支えてきた学校である。</p>	<p>特色ある教育活動 専門を生かした地元企業への就職をはじめ、県外大手企業、国家・地方公務員、四年制大学を始めとする上級学校への進学など、「高い学力を誇る工業高校」として県内のみならず全国的にも知られている。昨今、「有能なものづくり人材の育成」が求められている中、これに応えるべく、産・学・官の連携によるものづくり教育を推進し、技能士などの資格取得へ向けた取り組みを強化している。具体的には、アイデア・ロボットの製作、ものづくりコンテスト、いわて車いすフレンズ（車椅子を修理して海外に贈る）など、専門を生かした幅広い活動を行い、一関市社会福祉協議会のボランティア指定も受けている。</p>	

<p>県立 花泉高等学校 URL: http://www2.iwate-ed.jp/han-h/</p>	<p>〒029-3101 一関市花泉町花泉字林の沢17-9 TEL: 82-3363 FAX: 82-5448</p>	<p>校長: 嶋 隆 副校長: 及川 玲一郎 教職員数: 17名 生徒数: 103名 学級数: 6</p>
	<p>校訓 知行合一 教育目標 1 幅広い知識と教養、真理を求める態度を身につけた生徒を育成する 2 豊かな情操と道徳心を持ち、心身の調和のとれた生徒を育成する 3 進んで働くとする意欲を持ち、社会に貢献できる生徒を育成する 4 伝統と文化を尊重し、国と郷土を愛する心を持った生徒を育成する</p> <p>目指す学校像 1 学力向上に向けて積極的に努力する学校 2 規律ある生活態度、責任感と品位を重んじる学校 3 生徒の個性を尊重し、生徒の社会性の育成と多様な進路希望を実現できる学校 4 生徒の安全安心を確保し、保護者や地域から信頼される学校</p> <p>特色ある教育活動 1 各学年1学級の募集定員であるが、一人ひとりに手をかけ、目をかけ、丁寧に指導を行うために各学年2学級の編成にしている。数学・英語では習熟度による授業を行ったり、学校設定科目「ベーシック」では進路別に細やかな指導を行ったりと、生徒の学力向上に成果をあげている。 2 「地域に根ざし、地域を支える存在」として、PTAや地域と連携し様々な行事に参加したり、ボランティア活動に積極的に参加したり、生徒はいきいきと活動している。地域の方々のご協力をいただきながら「地域課題研究」を行っており、新たな発見と郷土愛を膨らませている。 3 進路においては就職希望者内定率100%達成はもとより、進学面でも4年連続で国公立大学合格者を出すなど、充実した成果をあげている。一人一人の個性を生かし、能力を伸ばす教育を目指し、生徒自らが考え行動する機会をさらに増やして、昨年を上回る活動や実績を目指していく。</p>	
<p>沿革 昭和23年 県立一関第一高等学校定時制課程普通科流れ分校発足 24年 県立花泉高等学校となる。開校式 26年 校舎落成記念式典 47年 商業科新設 51年 新体育館竣工 52年 創立30周年記念式典 62年 創立40周年記念式典・第二校舎落成 平成元年 情報処理科新設 9年 創立50周年記念式典 12年 セミナーハウス竣工 18年 商業科閉科 19年 創立60周年記念式典 29年 創立70周年記念式典</p>		

<p>県立 大東高等学校 URL: http://www2.iwate-ed.jp/dai-h/</p>	<p>〒029-0523 一関市大東町摺沢字堀河ノ沢34-4 TEL: 75-3369 FAX: 75-3117</p>	<p>校長: 佐々木 信 明 副校長: 千 葉 賢 教職員数: 35名 生徒数: 206名 学級数: 9</p>
	<p>目指す学校像</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本校での教育・諸活動を通じて、生徒を大人として成熟させる学校 2. 自己実現に向けて常に可能性に挑戦し、生徒が切磋琢磨する学校 3. 復興・防災教育に取り組み、持続可能な社会を担う人材を育成する学校 4. 地域に発信し、地域から信頼される学校 	
<p>沿革</p> <p>大正15年 私立摺沢家政女学校として設立 昭和23年 組合立摺沢高等学校と改称 県立移管、岩手県立摺沢高等学校となる 定時制課程大原分校(夜間制普通科)設置 39年 岩手県立大東高等学校(全日制課程・普通)と改称 大原分校(全日制課程・商業科)と改称 48年 大原分校が岩手県立大原商業高等学校として開校 平成10年 大原商業高校創立50周年記念式典挙行 18年 大東高校および大原商業高校の統合により 新岩手県立大東高等学校開校 18年 新岩手県立大東高等学校開校 27年 大東高校創立90周年記念式典挙行</p>	<p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 普通科6学級、情報ビジネス科3学級の計9学級の編成となっています。本校教育活動の最大の特徴は、生徒一人ひとりの多様な進路目標実現にきめ細かに対応出来る体制を堅持していることです。また、地区で唯一の商業科を有する高校でもあります。 2. 「文武両道」を目標として日々切磋琢磨し、進路実績では昨年岩手大学等の国公立大学をはじめ、私立大学、短大、専修学校等へ43名が進学を果たしています。また、就職では希望者29名全員が、公務員はじめ県内大手企業の製造・販売等多岐にわたって就職しています。部活動は、運動部では弓道部・ソフトボール部が東日本選抜大会に、文化部では、鹿踊部・ワープロ部がかつて全国大会出場するなど、各部がめざましい活躍を続けています。鹿踊部は地元の多くのイベントに参加するなど、地域に密着した活動をしています。 3. 模擬株式会社「DjoB」を立ち上げ、地元企業と連携し、様々なイベントへの参加や企画の提案、ボランティア活動の推進をしています。また、岩手県の「高校の魅力化・ふるさと創生事業指定校」、一関市社会福祉協議会の「ボランティア協力校」として、地域との共働に積極的に取り組んでいます。 	

<p>県立 千厩高等学校 URL: http://www2.iwate-ed.jp/sen-h/</p>	<p>〒029-0803 一関市千厩町千厩字石堂45-2 TEL: 53-2091 FAX: 52-3170 E-mail: DB0069@pref.iwate.jp</p>	<p>校長: 松 場 喜美夫 副校長: 平 田 勝 彦 教職員数: 54名 生徒数: 482名 学級数: 15</p>
	<p>教育目標</p> <p>自主・自律の精神に富み、生涯にわたり学ぶ意欲と国際的視野を持った心身ともに健康でたくましい人間を育成する。</p>	
<p>沿革</p> <p>明治35年、県南の千厩の地に県下2番目の農学校(蚕業学校)として開校し、今年で創立120年を迎える伝統校です。</p> <p>昭和49年の普通科独立を契機に、千厩高校と千厩農業高校に分離。その後、千厩農業高校に工業系学科である産業技術科が設置され、校名を千厩東高校に改めました。</p> <p>平成14年、県の新高校再編計画に伴い、千厩高校と千厩東高校が統合し、県内唯一の普通科に専門学科2つを併置する高校としてスタートしました。さらに、平成20年度には藤沢高校と完全統合し、地域に根ざした学校として有為な人材の育成に力を入れています。</p>	<p>目指す学校像</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒一人ひとりが学習や部活動に主体的に取り組むことができる学校を目指します。 (2) 普通科・生産技術科・産業技術科の特長を活かした学校を目指します。 (3) 生徒・保護者・地域から信頼される学校を目指します。 <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 普通科3クラス、生産技術科(農業系)1クラス、産業技術科(工業系)1クラスの5学級編成です。2年次からは、普通科が文系と理系に、生産技術科が農業を主とする生産科学コースと、家庭・福祉を主とする生活科学コースに分かれます。産業技術科は、機械・電気・電子を総合的に学習します。 (2) 「質実剛健」、「文武両道」の校訓のもと、学習と部活動に真剣に取り組み、毎年着実に成果をあげています。国公立大学希望者等の進学率も高く、就職内定率も毎年100%です。近年の部活動では、ソフトボール部・ボクシング部・陸上競技部・弓道部・箏曲部・演劇部などが東北大会や全国大会に出場しています。 	

<p>学校法人一関学院 一関学院高等学校 URL: http://www.ichinoseki-gakuin.jp</p>	<p>〒021-0871 一関市八幡町5-24 TEL: 23-4240 FAX: 23-4245 E-mail: info@ichinoseki-gakuin.jp</p>	<p>校長: 小野寺 啓 一 副校長: 藤田 一 彦 教職員数: 39名 全日制生徒数: 358名 学級数: 12 通信制生徒数: 114名 学級数: 4</p>
	<p>教育目標 (本校の教育理念) 文武両道において全国レベルで活躍し、東北の私学の雄として地域に貢献できる人材育成を目指す。 (校訓) 勤労 [diligence] 敬愛 [reverence] 協調 [harmony] (教育目標) (1) 個性豊かで知性に満ちた人間を育成する (2) スポーツ、文化活動を通じ、心身ともに健康な人間を育成する (3) 勤労の精神を体得し、活動的な人間を育成する (4) 社会に貢献する有能な人材を育成する (本校の目指す生徒像) (1) 明るく挨拶を交わし、時間を守る生徒 (第一印象と信頼性) (2) 思いやりの心を持ち、責任感の強い生徒 (誠実さ) (3) 常に自己を意欲的に切り拓く生徒 (挑戦と学び)</p>	
<p>沿革 昭和13年 一関夜間中学校創立・初代校長 芳川顕雄 16年 一関商業学校認可 23年 財団法人若手県開城高等学校と改称認可 26年 学校法人一関学院と改称 開城高等学校(夜間)・一関商業高等学校(昼間)と改称 34年 一関商業高等学校に電気通信科を併設、夜間部を開城工業高等学校と改称 38年 一関商業高等学校、開城工業高等学校を統合し、一関商業高等学校と改称 57年 コンピュータによる授業開始 59年 第2校舎落成式 62年 情報処理科を新設 63年 創立50周年式典・森林公園グラウンド完成・制度を改定 平成5年 情報ビジネス科を新設(商業科を募集停止) 6年 管理棟増築完成 11年 別科洋裁科新設 12年 実習棟増築完成 13年 一関学院高等学校と改称 15年 通信制課程新設、電子科廃止 16年 別科洋裁科廃止 19年 情報処理科生徒募集停止、制服改定 20年 創立70周年記念式典 21年 情報処理科廃止 25年 第3校舎建替 30年 創立80周年記念式典</p>	<p>特色ある教育活動 (全日制) 1 個々の進路目標を実現するために特別進学コース、進学コース、総合ビジネスコース、体育コースの4つのコースに分かれて学習します。 2 運動部では硬式野球部、陸上競技部、バスケットボール部、ソフトテニス部など全国大会に出場する実力のある運動部をはじめ、柔道部、バドミントン部、サッカー部、卓球部が活躍しています。また、文化部では県大会で金賞を受賞する実力をつけてきた吹奏楽部の他に美術部、商業部、郷土史文化研究会、ライフサイエンス部があります。 3 進学実績では、国公立大学2名、県立高等看護学校1名をはじめ、大学、短大、専門学校に83名が合格しました。就職については、例年高い内定率を実現しています。 (通信制) 一般コースと在宅コースのいずれかを選択し学習します。</p>	

<p>学校法人 健康科学大学 一関修紅高等学校 URL: http://www.shuko.ed.jp</p>	<p>〒021-0807 一関市宇東花王町6-1 TEL: 23-3096 FAX: 23-3095 E-mail: shuko@shuko.ed.jp</p>	<p>校長: 齋藤 成一 副校長: 大内 高 志 教職員数: 37名 生徒数: 391名 学級数: 15</p>
<p>時代のニーズをいち早く 新一関修紅高等学校は君がつくるんだ。 看護進学コース 第3期卒業 ～看護・医療の道へ～ 中学生に救急法を実演</p> 	<p>校訓 「至心」・「自立」・「友愛」 教育目標 ① 「至心(ししん)」すなわち、「まごころ」をつくす人間を育てる。 ② 己を自覚し、自立する人間を育てる。 ③ 視野の広い慈愛に満ちた人間を育てる。 ④ 勤勉で感謝と奉仕のできる人間を育てる。 本校は、子どもの「命」と向き合い、安全で安心な学びの場づくりに取り組んでいます。</p>	
<p>沿革 明治32年 5月 小梨こま裁縫塾を開設。(本校創立) 昭和23年 4月 学制改革により、一関修紅高等学校(被服科)開校。 36年 4月 普通科を設置。 37年 4月 普通科に男子入学。男女共学とする。 60年 4月 学校法人第一麻生学園に名称変更。麻生一関高等学校に名称変更。 平成9年 4月 普通科に特別進学コースと一般・進学コースのコース制を導入する。 13年 4月 「学校法人第一藍野学院」に名称変更。一関修紅高等学校に名称変更。 21年 5月 創立110周年 記念式典挙行並びに記念講演会実施。 22年 4月 「学校法人第一藍野学院」を「学校法人富士修紅学院」に名称変更。 23年 4月 普通科の一般コースを総合コースに名称変更。(2年次よりビジネスコースと進学教養コースに分かれる。)体育館を新設。 28年12月 「学校法人富士修紅学院」を「学校法人健康科学大学」に名称変更。 29年 4月 普通科に看護進学コースを設置。 30年 4月 普通科にライフデザインコースを設置。 令和元年 6月 創立120周年記念式典・講演会を開催。</p>	<p>学校経営・指導の重点 より地域から信頼される学校を目指し、本校では、生徒・保護者、教職員が一体となった運営を実践体系化するため、次のことに努めています。 生徒の適性や多様性を理解し、個々の能力を伸ばす教育を実践する。 安全で楽しい学校生活を保障する。 読解力、計算力、一般教養などを身につけるなど、基礎的、発展的な学力向上を図る。 進路意識・職業意識の向上と適切な進路指導に努める。 礼節、忍耐力などの人間力の向上を図る。</p> <p>特色ある教育活動 特色あるコース(特別進学・看護進学・ビジネス・進学教養・幼児教育・ライフデザイン)設置による、実習の充実や各種検定資格取得などへの積極的な取り組みの他、習熟度別学習や少人数学級により個に応じた教育、個々の生徒に目標や夢、理想をもたせる教育を実践しています。また、県内初となる電子黒板の導入やICT教育そしてアクティブラーニングなど先進的教育を取り入れ、新たな社会的ニーズに対応できる力を育てています。その他インターンシップ(2年次)、地域における社会奉仕活動、スクールカウンセラーによる健康相談、Classi配信による保護者との連携、学業・部活動の特別奨学生制度の充実、系列校である大学・短大・付属認定校とも園と連携した専門性の向上など多岐にわたる教育を展開しています。</p>	

(4) 高等専門学校・短期大学


<p>独立行政法人 国立高等専門学校機構 一関工業高等専門学校 URL: https://www.ichinoseki.ac.jp/</p>	<p>〒021-8511 一関市萩荘字高梨 TEL : 24-4700 FAX : 24-2146 E-mail : s-somu@ichinoseki.ac.jp</p>	<p>校長：荒木 信 夫 副校長：明石尚之・二階堂 満 谷川 享行・若嶋振一郎 中山 淳 教職員数：100名 学生数：847名 学級数：23</p>
	<p>教育目標 本校では、次のような素養と能力を身につけた技術者の育成を目標とする。 ・国際社会の一員として活動できる技術者 ・誠実で豊かな人間性と広い視野を持つ技術者 ・広い分野の基礎知識と優れた創造力・開発力をもつ技術者 ・継続的に努力する姿勢とさかんな研究心をもつ技術者 ・協調性と積極性をもち信頼される技術者 ・技術と社会や自然との係わりを理解し社会的責任を自覚できる技術者</p>	
<p>沿革</p>	<p>研究活動 国立の高等教育機関として、教員は機械・知能、電気・電子、情報・ソフトウェア、化学・バイオ、総合科学(人文社会及び自然科学)の分野における学術的な研究を行っています。また、学生も教員の指導を受けながら、本科の卒業研究、専攻科の特別研究として研究活動に取り組んでいます。 産学官交流の拠点及び学内共同教育研究施設として地域共同テクノセンターがあります。これは、教員等の研究活動を支援し学生の教育に還元するとともに、技術相談、共同研究、公開講座等を通じて産業界との交流を図っています。</p>	
<p>昭和39. 4. 1 一関工業高等専門学校設置 機械工学科2学級、電気工学科1学級2学級で発足 44. 3. 19 第1回卒業証書授与式挙行 44. 4. 1 化学工学科1学級1学科設置 59. 10. 23 創立20周年記念式典挙行 平成元. 4. 1 機械工学科2学級のうち1学級を制御情報工学科に改組 6. 10. 7 創立30周年記念式典挙行 7. 4. 1 化学工学科を物質化学工学科に改組 13. 4. 1 専攻科(生産工学専攻、物質化学工学専攻)設置 15. 4. 1 電気工学科を電気情報工学科に名称変更 16. 4. 1 独立行政法人国立高等専門学校機構一関工業高等専門学校に移行 16. 10. 1 創立40周年記念式典挙行 17. 5. 12 「生産技術情報システム工学」教育プログラムが日本技術者教育認定機(JABEE)の認定を受ける。 26. 4. 19 創立50周年記念式典挙行 27. 3. 30 学生寮新棟(東寮)竣工 29. 4. 1 機械工学科、電気情報工学科、制御情報工学科及び物質化学工学科を未来創造工学科に改組 令和 2. 3. 24 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が実施する令和元年度「高等専門学校機関別認証評価」において、評価基準を満たしているとして認定された。 4. 4. 1 専攻科生産工学専攻、物質科学工学専攻をシステム創造工学専攻に改組</p>	<p>特色ある教育活動 創造性豊かで実践的な開発型技術者を育成しています。 本科では幅広い教養を身につける一般科目と高度な専門性を身につける専門科目をくさび形に配置した5年間の一貫教育により、効果的な教育を行っています。 また、本科の教育の上に、より高度な専門と広範な基礎知識や技術の習得を目的とする2年間の専攻科があり、大学学部卒業生と同じ学士(工学)の学位を取得することができます。 本科卒業生の進路は、進学と就職がほぼ半数であり、進学先は専攻科及び国立大学等(3年次編入学)となっています。 専攻科修了生の進路は、大学院進学または就職であり、多様な進路が開かれています。 なお、毎年数名の外国人留学生を受け入れているほか、遠方からの入学生に配慮し、女子学生を含め約370名を収容できる学生寮があります。</p>	

<p>学校法人 健康科学大学 修紅短期大学 URL: http://www.shuko.ac.jp</p>	<p>〒021-0902 一関市萩荘字竹際49-1 TEL : 24-2211 FAX : 24-2213 E-mail : tandai@shuko.ac.jp</p>	<p>学 長：千 葉 正 教職員数：23名 学 生 数：99名 学級数：5</p>
	<p>教育目標 本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、建学の精神「信愛」「健康」「報恩」をふまえながら、旺盛な自主の精神と強い責任感を養うとともに、幼児教育学並びに食物栄養学に係る高度な専門知識と技能を習得させることにより、心身の健康に関する豊かな感性を備えつつ実践力が強い、広く社会に貢献できる人材を育成する。</p>	
<p>沿革</p>	<p>研究主題 (幼児教育学科) ○乳幼児の心身の発達に関する研究 ○乳児のための表現に関する研究 ○様々なニーズをもつ子どもや、家庭の支援に関する研究 (食物栄養学科) ○食物に含まれる栄養および食品の構造に関する研究 ○食品の安全性など食品の衛生管理に関する研究 ○年齢や健康状態の違いによる栄養素のとり方、病気にかからない食事法および病気に対応した食事に関する研究</p>	
<p>明32. 5. 小梨こまが裁縫学校を創立 昭28. 3. 23 修紅短期大学設置許可あり、岩手県唯一の私立短期大学として家政科を設置 33. 1. 10 短期大学に保育科増設 33. 4. 1 修紅短期大学(保育科)が幼稚園教諭免許状「幼稚園2級」課程の認定 47. 3. 30 保育科を保育養成所として指定 49. 4. 1 家政科を家政学科、保育科を幼児教育学科に改称 60. 4. 1 法人名称を学校法人第一麻生学園に、短期大学の名称を麻生東北短期大学に改称 平13. 4. 1 法人名を学校法人第一藍野学院と改め、短期大学の名称を修紅短期大学と改称 13. 12. 27 修紅短期大学生活文化学科に栄養士養成施設指定の認定(平成14年度入学生より適用) 15. 4. 1 修紅短期大学生活文化学科を食物栄養学科に名称変更 15. 11. 7 修紅短期大学創立50周年記念式典及び祝賀会を挙行 16. 2. 17 オーストラリア・マクドリン大学・エンバシーCESとの間で学術交流及び姉妹校協定の締結 17. 4. 1 修紅短期大学(食物栄養学科)栄養教諭2種免許課程の認定 22. 3. 31 法人名を富士修紅学院に改称 25. 11. 12 修紅短期大学創立60周年記念式典挙行 29. 4. 1 法人名を学校法人健康科学大学に改称</p>	<p>特色ある教育活動 ① 乳幼児のための音楽的身体表現、実践的な表現活動の充実 ② 地域に根ざした食に関する栄養と健康の情報の発信</p>	

(5) 特別支援学校

<p>県立 一関清明支援学校</p> <p>URL: http://www2.iwate-ed.jp/ich-r/ E-mail: ich-r@iwate-ed.jp</p>	<p>(本校舎) 〒021-0041 一関市赤荻字上台96番5 TEL: 33-1690 FAX: 33-1601 (山目校舎、あすなる分教室) 〒021-0056 一関市山目字泥田山下48-12 TEL: 25-3210 FAX: 25-2770 (千厩分教室小学部) ※千厩小学校内 〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場10-2 TEL: 53-2275 FAX: 34-4121 (千厩分教室中学部) ※千厩中学校内 〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場195-5 TEL: 53-3181 FAX: 53-3181</p>	<p>校長: 谷 浩明 副校長: 藤原 有紀、金濱 基 小原 桂、佐々木宏行</p> <p>教職員数: 134名 幼児児童生徒数: 152名 学級数: 53 (本校舎: 91名 29学級) (山目校舎: 28名 11学級) (あすなる分教室: 13名 5学級) (千厩分教室小学部: 12名 5学級) (千厩分教室中学部: 8名 3学級)</p> 
 <p>本校舎</p>  <p>山目校舎</p>  <p>あすなる分教室</p>  <p>千厩分教室小学部</p>  <p>千厩分教室中学部</p> <p>沿革</p> <p>平成19年 4月 1日 一関市立千厩小学校内に千厩分教室小学部を開設 20年 4月 1日 岩手県立一関豊学校と岩手県立一関養護学校を統合し、岩手県立一関清明支援学校として開校 一関市立千厩中学校内に千厩分教室中学部を開設 21年 4月 1日 本校舎を赤荻の新校舎に移転 24年 2月18日 本校舎を赤荻の新校舎に移転 29年10月 4日 創立10周年記念事業を祝う会開催</p>	<p>校訓 「清く 明るく たくましく」</p> <p>教育目標 (めざす幼児児童生徒像) ○自分のよさに気づき、自己実現のための向上心をもちつつける人 ○ほかの人を思いやるやさしい気持をもつ人 ○心と身体の健康を大切にする人</p> <p>研究主題 「新学習指導要領に対応した授業づくり ～幼児児童生徒が主体的に学ぶ姿勢を目指して～」</p> <p>特色ある教育活動 ○4障がい対応の特別支援学校 (聴覚、病弱、肢体不自由、知的) ○2校舎 3分教室の学校 (本校舎、山目校舎、あすなる分教室、千厩分教室小学部、千厩分教室中学部) ○共生社会の担い手にふさわしい人を育てる教育 ・地域、居住地の学校との交流及び共同学習 ・地域の教育資源を活用した教育の推進 ○外部専門家活用 (言語聴覚士、作業療法士、茶道講師、音楽療法士等)の活用による専門性の向上 ○地域への特別支援教育に係わる専門性の提供</p>	

(6) 幼稚園・認定こども園

<p>市立 舞川幼稚園</p>	<p>〒021-0221 一関市舞川字館ノ越22-12 TEL・FAX: 28-2112 E-mail: maiyu@city.ichinoseki.iwate.jp</p>	<p>園長: 八 島 定 子 教職員数: 5名 園児数: 21名 学級数: 3</p>
 <p>沿革</p> <p>昭和54年 4月 一関市立舞川幼稚園創立 6月 園章制定・園門設置 57年 2月 園歌制定 62年 1月 遊戯室拡張 平成元年 6月 創立10周年記念式典挙行「ログハウス設置」 12月 園庭拡張 9年 4月 三年保育開始 11年11月 創立20周年記念式典挙行 17年 8月 教育課程研究協議会発表 11月 「おはごあことほ標識」設置 20年 8月 園扉の設置 10月 創立30周年記念式典挙行「園名パネル設置」 21年10月 市教委・一関公立幼稚園研究協議会指定保育園 22年 1月 岩手県公立幼稚園教育研究大会研究発表 岩手県教育委員会学校安全優良校表彰 全国公立幼稚園教育研究協議会岩手大会研究発表 7月 全国公立幼稚園教育研究会福井大会ポスターセッション発表 24年 7月 園舎耐震改修工事完了 28年 1月 園庭遊具設置工事完了 29年 4月 預かり保育開始 令和 2年 1月 創立40周年記念事業「感謝状贈呈式」 2年 9月 園庭遊具一部撤去 3年 3月 プランコ、すべり台、鉄棒設置</p>	<p>教育目標 園児の実態に即し、幼児期にふさわしい豊かな生活経験を通して、心身ともに健康で心の豊かな意欲ある子どもの育成に努める。 ・明るくたくましい子 ・友だちとなかよく遊べる子 ・よく聞き、考え、工夫する子</p> <p>研究主題 主題 「思いや考えを自ら言葉で伝え合う幼児を目指して」</p> <p>特色ある教育活動 ○豊かな遊びを育てる ・幼児自ら働きかけ、遊びが展開できるよう、環境を工夫する。 ・思いや考えを自ら言葉で伝え合う幼児を育むことを目指して研究を推進する。 ・自然とのふれあい等五感を使った直接体験を大切にする。 ○幼小中及び地域、PTAの連携推進を図る ・小学校への滑らかな移行ができるよう、舞川小学校との連携に工夫を凝らし、教師同士の相互理解と共感を得られるようにする。 ・幼小中及び地域、PTAとは状況に応じて連携の在り方を工夫し、地域の教育施設としての役割の一端を担う。</p>	

市立 真滝幼稚園	〒029-0132 一関市滝沢字水口103-103 TEL・FAX：21-2156 E-mail：matayo@city.ichinoseki.iwate.jp	園長：千葉登美 教職員数：5名 園児数：17名 学級数：3
	教育目標 みんなあつまれ げんきいっぱい たくましく 一心豊かなたくましい幼児の育成— ・まごころあふれる子 …なかよく遊び思いやりのある子 ・たくましい子 …じょうぶでたくましい子 ・きがつきかんがえる子…よく考え進んで行動する子 研究主題 「しなやかな心」の育ちを目指して	
沿革 昭和55年 4月 一関市立真滝幼稚園創立 二年保育 56年11月 園歌発表披露 平成元年11月 創立10周年記念式典挙行 「ジャブジャブ池」「なかよしハウス」設置 9年 4月 二年保育開始 12年10月 創立20周年記念式典挙行 「園門」「園名プレート」設置 18年 3月 ガス管改修 廊下床板張り替え 19年 9月 園舎内壁紙張り替え 10月 市教委・向野公立幼稚園教育研究大会研究発表 プール更新設置 21年 5月 園庭南側花壇の整備及び駐車場の整備 22年 3月 創立30周年記念事業の実施 10月 廊下全面壁紙張り替え 23年 9月 園舎断熱工事完了 25年11月 預かり保育開始 29年 4月 市教委・一関地区公立幼稚園教育研究大会研究発表 遊具更新 プランコ・はん登梯新設 30年10月 園門設置 31年 3月 園舎内一部床張り替え 令和 2年10月 3年 1月	研究のねらい 「しなやかな心」を育むための環境の構成や教師の援助の在り方を探る。 特色ある教育活動 ・豊かな自然環境を生かした保育活動 （動植物に触れる） ・健康づくりの推進 （園内外様々な地形を活用した健康な体づくり） ・開かれた幼稚園 （PTA、小・中学校、市民センター等と連携し、情報を発信・交換することで幼稚園教育を理解してもらう）	

市立 巖美幼稚園	〒021-0101 一関市巖美町字鴻ノ巣161-1 TEL・FAX：29-2622 E-mail：genyo@city.ichinoseki.iwate.jp	園長：小山純輝 教職員数：5名 園児数：8名 学級数：3
	教育目標 美しい郷土に誇りをもち、心身ともに健康で、 生きる力にあふれる幼児の育成を目指す。 ○自分のことは自分でできる子ども ○元気よく遊ぶ子ども ○友達と仲良くできる子ども ○よく工夫しのびのび表現する子ども 園内研究 1. 研究主題 豊かな体験でつなぐ幼小の学び ～幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)を通して～ 2. 研究のねらい 体験を通じた幼児の育ちを10の姿を手掛かりに幼小間で共有し、体験の関連性を理解することで幼小の学びにつなげる。	
沿革 ・昭和58年4月1日に創立。同59年11月園歌・園章を制定。 ・昭和61年・平成2年・12年 向野公立幼稚園協議会指定・一関市教育委員会指定の公開保育研究会を開園。 ・平成7年 日本体育・学校保健センター・岩手県教育委員会指定の公開保育研究会を開園。 ・平成11年より毎年一関市若いっばいコンクールに参加。奨励賞・優秀賞を受賞。平成27・28年度最優秀賞受賞。 ・平成14・15年度岩手県教育委員会指定「幼・小連携に関する総合的調査研究」、15年度6月・11月に公開保育研究会を開園。 ・平成18年度幼稚園教育課程理解推進事業（中央協議会）の県代表として12月に東京で発表。 ・平成20年 県教育功労者表彰（PTA） ・平成21年 優秀PTA文部科学大臣表彰 ・平成23年 一関公立幼稚園研究協議会指定・一関市教育委員会指定の公開保育研究会を開園。 ・平成24年 創立30周年記念式典 ・平成28年度 一関市「ことばの時間」モデル園指定 ・平成29年度 預かり保育開始 ・令和元年度～3年度 岩手県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会事務局として活動。 （令和元年度には総会研究大会を開催）	特色ある教育活動 ○本園は今年創立40周年を迎え、これまでの歴史と本園の良さや特色を生かし、下記の内容について充実させたいと考える。 1 地域の特徴を生かした保育活動の推進 ア 豊かな自然環境を生かした保育活動を推進する。 イ 幼小中の連携と交流、地域住民との交流活動を推進する。 2 少ない園児数を生かした保育活動の推進 3 幼小交流を通じた幼小接続に関わる研究の推進 4 40年を振り返り、本園の歴史と良さを生かした教育活動の推進	

市立 赤荻幼稚園

〒021-0041
 一関市赤荻字桜町237-2
 TEL・FAX：25-4188
 E-mail：akoyu@city.ichinoseki.iwate.jp

園長：千葉 敏之
 教職員数：5名
 園児数：18名 学級数：3



教育目標

- ・自分のことは自分でできる子
- ・みんなと仲良しになれる子
- ・明るく 元気に遊ぶ子
- ・話をよく聞き はっきり話す子

研究主題

「幼児が主体的に関わりたくなるような環境の工夫」
 ～心弾む保育を目指して～ (2年次)

ねらい

- ・実践や日々の保育の振り返りを通し、幼児が主体的に関わりたくなるような環境構成の方法(着想)や在り方を探る。
- ・教師間でお互いの実践や日々の保育の振り返りを行い、教師自身も楽しさを感じられるような保育の在り方を探る。

研究の方法

1. 研究テーマについての共通理解
2. 保育実践、教師間での保育の振り返り
3. 研究保育(写真評価法等を用い、環境の構成について話し合う)

特色ある教育活動

1. 様々な人との交流：赤荻小・赤荻保・清明支援との交流、介護施設ちやごみ招待、交流船祭りへの参加、勤労感謝訪問、サッカー教室等、様々な人々とのふれあい活動。
2. 直接体験を重視した活動：土や砂、水、草花等へ直接働きかけて遊ぶ活動。
3. 食育：行事での会食や苦手の食材を親が料理で工夫し弁当に入れるチャレンジ弁当、栄養士による訪問指導等の活動。
4. 幼稚園サポートボランティア：安全確保のための散歩や健康診断時の手伝い、教育環境のための花壇の整備や園庭の草取り、保護者や地域の連携によるお話し会やお茶会の活動。
5. ことばの力を育てる教育の推進。「ことばの時間」の充実。

沿革

昭和59年 4月 1日 一関市赤荻幼稚園創立
 11月 27日 一関地区公立幼稚園指定保育公開
 60年 2月 5日 園歌制定
 62年 2月 13日 水泳トイレの改修
 63年 10月 21日 君子具教養指定保育公開
 平成 1年 10月 16日 市教委・西野研指定保育公開
 5年 6月 13日 創立10周年記念式典
 6年 8月 18～19日 教育課程研究発表会発表
 7年 4月 7日 幼稚園バス運行開始
 10年 4月 1日 3歳児保育開始
 7月 29日 教育課程研究発表会発表
 14年 10月 11日 市教委・西野研指定保育公開
 15年 11月 1日 創立20周年記念式典、園のついでハウスの設置
 19年 7月 27～28日 全国公立幼稚園研究大会(奈良大会)
 ポスターセッション発表
 プール更新
 21年 5月 幼稚園専用バス更新
 22年 1月 創立22年周年記念幼稚園教育研究協議会発表
 22年 8月 第19回東北福祉大学福祉学研究会発表
 22年 10月 第19回東北福祉大学福祉学研究会発表
 23年 3月 東日本人震災により被災(浄化槽等)
 23年 3月 園庭門扉の改修
 26年 11月 創立30周年記念式典
 28年 2月 ホールベランダ階段
 28年 4月 預かり保育開始
 31年 3月 遊具修繕完了
 令和 1年 14月 8日 絵本作家「真珠まりこ」さん来園
 2年 3月 コロナ対策のため加圧空気消毒機、飛沫防止パーテーション等備え付ける

市立 萩荘幼稚園

〒021-0902
 一関市萩荘字境ノ神237-1
 TEL・FAX：24-2340
 E-mail：hagiyo@city.ichinoseki.iwate.jp

園長：奈須川 江江子
 教職員数：5名
 園児数：6名 学級数：3



教育目標

- 地域と幼児の実態に即した教育をすすめ、心身ともに健全で人間性豊かな意欲に満ちた幼児を育成する。
- みんなと 仲よく 遊ぶ子 (体)
 - よく聞き よく考え 工夫する子 (徳)
 - 強い体と心でやり抜く子 (知)

研究主題

「学びを共有する幼小接続」
 ～環境に主体的に関わる幼児を通して～

研究のねらい

- 幼児期から小学校までの育ちを見直し、環境に主体的に関わる幼児の学びを捉え、幼小の職員で共有することを通して、互いの教育について理解を深める。

特色ある教育活動

1. 花や野菜などを育てる活動や虫や小動物との触れ合いなどを通し豊かな自然体験の重視。
2. 小学生・中学生との交流や地域の方々を招いての園行事、施設訪問など様々な人とのかかわる社会体験を通し豊かな心の育成。
3. 誕生会給食や栄養士による訪問指導・食育通信などの食育指導、日々の遊びなどを通して丈夫な体作りの促進。
4. 絵本の読みみかせや貸し出し、観劇鑑賞などを通し豊かな感性の育成。

沿革

昭和62. 4. 1 一関市立萩荘幼稚園創立
 平成 1. 11. 29 園歌制定
 4. 11. 29 園歌制定
 7. 4. 1 通園バス運行開始
 8. 6. 9 創立10周年記念式典挙行
 8. 6. 10 創立10周年記念事業実行委員会よりログハウス寄付
 10. 2. 16 園舎増築竣工
 4. 1. 3歳児保育開始
 11. 16. 27 内務公立幼稚園研究協議会指定研究公開
 13. 4. 1 「豊かな心をほぐくむ教育」推進事業指定
 18. 10. 10 園舎前取付道路並びに園門の設置
 18. 10. 28 創立20周年記念式典挙行、記念植樹・芝生の植栽
 22. 7. 30～7. 31 全国公立幼稚園研究協議会若手大会発表
 「協同性をほぐくむ保育」
 28. 11. 30 創立30周年記念式典挙行
 ログハウス改修、薬師地蔵
 29. 4. 11 ことばの時間、預かり保育開始
 9 ホールにカーテン設置
 30. 3 遊具1台設置
 令和 1. 10. 18 職員トイレ機式設置
 2. 2. 28 遊具更新(はんどろ棒、雲梯、鉄棒)
 3. 25 プール更新
 3. 10. 14 一関市教育委員会、一関地区公立幼稚園協議会指定公開保育研究会

市立 狐禅寺幼稚園

〒029-0131
一関市狐禅寺字小倉沢100-1
TEL・FAX：21-2177
E-mail: kozenyo@city.ichinoseki.iwate.jp

園長：千田 智明
教職員数：4名
園児数：17名 学級数：2



教育目標

幼児期にふさわしい豊かな生活体験を通し、基本的な生活習慣・態度を育て、生きる力の基礎となる心情と意欲を育てる。

基本目標—元気でなかよく

- 長体目標—自分のことは自分でできる子
- ・友だちとなかよく遊べる子
 - ・明るくたくましい子
 - ・よく聞き、考え、工夫する子

研究主題

「幼児が主体的に活動したくなる保育を探る」
～心動かす活動や体験を通して～

特色ある教育活動

1. 平成4年開園、旧狐禅寺小学校跡地にあり、緑豊かな自然に恵まれた環境にある。
園の周辺にこんこん山と称する小山があり、一年中遊び場として活用している。
2. 3歳児と4歳児は異年齢混合学級である。生活の場は一緒であるが、年齢の発達に即した教育課程による保育を行い、互いにより影響を受け合えるよう工夫しながら保育を進めている。
3. 体を動かして遊ぶ楽しさを味わわせ、子どもの活動性を高める保育に努めている。
4. 市民センター体育館が隣接し、多様な遊びと折々の行事に工夫をこらし、使用している。
5. 地域の方々とのおふれあいを通し、体験の機会を設けている。

沿革

- 平成4.4.1 一関市立狐禅寺幼稚園創立
- 4.10 開園式挙行
- 5.6.6 こんこん山造成
- 6.3.1 園舎、園歌制定
- 10.28 両警察立幼稚園指定公園研究会
- 8.3.14 園庭遊具等増設設置
- 4.1 3歳児保育開始
- 10.3.10 安全標識設置
- 13.5.20 19周年花壇増設
- 12.5 教育課程中央大会発表（東京）
- 16.4.1 4・5歳児混合保育開始
- 10.1 両警察立幼稚園指定公園研究会
- 17.3.31 幼稚園、公民館通路完成
- 23.3.11 東日本大震災により地震落下による建物被災
- 23.5.25 園舎、テラスの傾き補修
- 24.11 創立20周年誌発行
- 25.11 園舎の地震落下補修工事
- 12.6 幼稚園教育理解推進事業（中央協議会）発表
- 26.3 プール地下補修工事
- 27.10 一関市教育委員会指定公園保育研究会
- 29.4 預かり保育開始
- 9 屋外塗装工事

市立 弥栄幼稚園

〒029-0211
一関市弥栄字茄子沢236-24
TEL・FAX：43-3128
E-mail: yusayo@city.ichinoseki.iwate.jp

園長：皆上 聖一
教職員数：4名
園児数：8名 学級数：2



教育目標

幼児期にふさわしい生活経験と充実した環境を与え、心身ともに健やかで、豊かな心情を持つ幼児の育成を図る。

- 明るくたくましい子
- 友達と仲良く遊べる子
- のびのびと表現できる子
- よく聞きよく話せる子

研究主題

主体的に遊ぶ子の育成をめざして
～自然との関わりを通して～


特色ある教育活動

1. 教育に対する関心の高い地域で開園より30年。保護者・地域との連携を大切にされた園経営を目指している。
2. 地域の小学校や幼稚園との交流やサービス訪問等を行い、人と関わることの楽しさを味わい、小学校との円滑な接続ができるよう努めている。
3. 絵本やおはなし、ことばとの出会いを大切に、市立図書館における「絵本のひろば」の開催や、市民センターと連携した読み聞かせや観劇、園や家庭での読み聞かせ、「ことばの時間」を実施し豊かな感性を養うよう努めている。
4. 身近な花や野菜等の栽培・散歩等を通して、自然に親しみ、感動体験を味わうことができるよう努めている。

沿革


- 平成5.4.1 旧弥栄小学校跡地に幼稚園舎新築
- 4.9 開園式挙行
- 4.24 園舎、園歌制定
- 5.14 園庭遊具等増設設置
- 7. 園舎、園歌制定
- 10.13 両警察立幼稚園指定公園研究会
- 4.8 3歳児保育開始
- 13. 園舎、園歌制定
- 14. 1.21 園舎、園歌制定
- 8.25 園舎、園歌制定
- 17. 1.21 園舎、園歌制定
- 19. 3.25 園舎、園歌制定
- 22. 4.26 園舎、園歌制定
- 23. 10.16 園舎、園歌制定
- 24. 10.16 園舎、園歌制定
- 25. 10.16 園舎、園歌制定
- 26. 11.22 園舎、園歌制定
- 27. 5.28 園舎、園歌制定
- 28. 10.12 園舎、園歌制定
- 29. 4.16 園舎、園歌制定
- 30. 4.16 園舎、園歌制定
- 31. 1.30 園舎、園歌制定
- 令和3.3.12 園舎、園歌制定

市立 摺沢幼稚園	〒029-0523 一関市大東町摺沢字観音堂82-2 TEL・FAX：75-2238 E-mail：suriyo@city.ichinoseki.iwate.jp	園長：芦 宏 教職員数：5名 園児数：11名 学級数：3
	教育目標 周囲の人の人格を認め合い、明瞭で創造性に富み、いたわり合い、健康でたくましい人間性の育成を目指す。 1 よく聞きよく話す子（何でも 誰とでも話し合える子ども） 2 よく考え工夫する子（工夫し 発見し 創り出す子ども） 3 心も休もつよい子（健康で たくましく 元気な子ども） 4 みんなと遊べる子（いたわりの心で 助け合う子ども）	
沿革 昭和40年 4月 1日 私立幼稚園を創立 43年 2月 11日 園舎を摺沢字沼田に移転 50年 8月 17日 幼稚園教育課程岩手県研究大会研究発表 50年 9月 1日 大東町立摺沢幼稚園と改称 53年 10月 6日 岩手県学校図書館研究大会公開保育 59年 8月 17日 幼稚園教育課程岩手県研究大会研究発表 平成 4年 3月 6日 新園舎竣工落成 11年 10月 18日 教室増築完成 12年 4月 1日 3歳児保育開始 17年 9月 20日 一関市立摺沢幼稚園と改称 23・24年度 文部科学省指定「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり」推進事業 24年 10月 18日 一関地区公立幼稚園協議会・一関市教育委員会指定公開保育研究会開催 25年 1月 10日 岩手県国立公立幼稚園県大会にて研究発表 令和 3年 5月 25日 一関市教育委員会総合訪問	研究主題 教師間で、幼児と児童の相互理解を通して、学びの連続性を探る 研究のねらい 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点としながら、子供の姿を教師間で共有し、幼児と児童の相互理解を通して、幼稚園教育と小学校教育の学びの連続性を探る。 特色ある教育活動 1 ふれあい活動 ・園活動の中で、父母との触れ合いや異年齢層の人々との触れ合いによって、交流の輪を広げていく。 (1) 園活動：(バケツ田んぼ)・畑・親子遠足・運動会・発表会(餅つき大会)等 (2) 他機関との提携：(敬老会出演)、(老人クラブ運動会出演) 2 園外活動 ・日常の園内活動で経験できないことを実際に体験したり、見聞したりして経験領域を広げる。 ・野外観察・保育園児との交流活動等 ※() は、コロナウイルス感染症対策をとり自粛中	

市立 東山こども園	〒029-0302 一関市東山町長坂字西木町130-1 TEL：47-2145 FAX：47-2147 E-mail：higakodo@city.ichinoseki.iwate.jp	園長：佐々木 里 美 教職員数：20名 園児数：96名(6) 学級数：6(3) ()内幼稚園分
	教育目標 「一人ひとりの発達を的確に捉え豊かな人間性を育むことを目指す」 ○心豊かで健やかな子ども ○爽しく友達とあそぶ子ども ○思いやりのある子ども ○自分で考え行動できる子ども	
沿革 げいび幼稚園 昭和42年 4月 「げいび学園」として設立 43年 4月 「げいび幼稚園」と称する 48年 4月 「東山町立げいび幼稚園」発足 平成 5年 2月 新園舎落成記念式、落成祝賀会開催 長坂保育園 昭和32年 6月 「長坂保育園」開設 53年 4月 「長坂保育園」移転改築 平成31年 3月 「げいび幼稚園」「長坂保育園」閉園 31年 4月 「東山こども園」開園 (げいび幼稚園と長坂保育園が統合)	研究主題 「主体性を育むことを目指して」 ～言葉を通して子どもの育ちを促すために～ 特色ある教育活動 ○人や自然とのかかわりを大切にしたい感性を育む体験活動 登龍門祭・ディサービス訪問・親子遠足・畑の栽培 唐梅館公園散策・七五三参り・りんご狩り・運動会 ○町内の3園での交流(年長児) 唐梅館絵巻参加・交流運動会・ブルーベリー狩り ○小学校・中学校との交流 幼保小交流会・保育体験・職場体験 ○園児の身体づくり活動の充実 季節に応じた運動的な遊びの継続	

市立 室根こども園	〒029-1201 一関市室根町折壁字八幡沖373-1 TEL: 64-3219 FAX: 61-2077 E-mail: marokod@city.ichinoseki.iwate.jp	園長: 及川由美 教職員数: 14名 園児数: 75名(2) 学級数: 6(3) ()内幼稚課分
	教育目標 豊かな保育環境の中で教育と保育が一体となり、豊かな人間性を育てることを目標とします。 ○心も体も健康で 明るい子ども ○友達と仲良く遊び 思いやりのある子ども ○人間や自然を愛し、心豊かな子ども ○よく聞き、よく話し、ことば豊かな子ども ○意欲的に活動し、創造性豊かな子ども	
沿革 昭和40年 4月 折壁保育所開園 (定員60名) 50年 4月 折壁保育所ポニークラブ結成 57年 2月 折壁幼年消防クラブ結成 63年 3月 財団法人日本名火協会より表彰 平成 2年 9月 東北管区警察局長表彰 3年 9月 社会福祉協力所指定 13年 3月 新築移転 (定員90名) 子育て支援センター開設 17年 9月 一関市立折壁保育園と改称 27年 6月 園舎増改築開始 27年 9月 岩手県幼少年婦人防火委員長表彰 28年 3月 室根地域5保育施設閉園 28年 4月 室根こども園開園 (定員110名)	研究主題 「子ども達が主体的に遊ぶ環境構成を整える」 特色ある教育活動 ○健康でたくましい心と身体づくりのため、積極的な戸外活動をする。 ○豊かな自然や地域の教育力を活用した保育を進める。 ○家庭との連携を密にし、園教育と家庭教育との融合に努める。 ○「スマイル図書デー」の定着と「園の図書貸し出しコーナー」の充実を努め、親子読書の推進を図る。 ○一人ひとりの発達段階をとらえた保育を行う。	

市立 藤沢こども園	〒029-3405 一関市藤沢町藤沢字仁郷41番地2 TEL: 63-2124 FAX: 63-2427 E-mail: fujiho@city.ichinoseki.iwate.jp	園長: 小山博恵 教職員数: 24名 園児数: 74名(6) 学級数: 6(3) ()内幼稚課分
	目 標 「自ら進んで生活し、心も体も健康な子ども」 ○友だちと、やさしくなかよく遊ぶ子ども ○様々なことに興味関心を持って、取り組む子ども ○「早寝・早起き・しっかりご飯」で元気な子ども	
沿革 昭和34年 4月 藤沢保育園開園 (定員60名) 51年 2月 園舎新築移転 (柳平118番地) 55年 4月 藤沢幼稚園開園 (定員40名) 藤沢保育園開園 (定員90名) 57年 4月 幼稚園増築 (定員80名に改正) 59年 4月 西口保育所統合 61年 4月 本郷児童館統合 平成13年 4月 幼稚園定員70名に改正 21年 4月 藤沢・徳田・保呂羽・大籠4園統合 23年 9月 一関市立藤沢幼稚園・保育園に改称 24年 4月 一関市立藤沢こども園に改称 25年 4月 園舎新築移転 (仁郷41番地2)	研究主題 主体的な活動を促すための援助の在り方 ～ 園児理解を深めるための見える化の工夫～ 特色ある教育活動 1 地域にある施設を活用した保育として、図書館による絵本の読み聞かせや絵本の貸し出し、通年の温水プール体験。 2 福祉施設の訪問や病院待合室への作品展示、行事を通して地域の方々との交流し、ふれあいを深めている。 3 地域の伝統や文化に触れる機会として、野焼祭、防火パレード等への参加。 4 子ども達を取り巻く生活環境の課題をさぐり、家庭と連携し、生活習慣の確立を図る。いちのせきの家庭教育10か条の活用。	

市立 黄海こども園	〒029-3311 一関市藤沢町黄海字天堀11-1 TEL・FAX: 63-2125 E-mail: kinoho@city.ichinoseki.iwate.jp	園長: 山口 由美 教職員数: 14名(2) 園児数: 43名(3) 学級数: 5(3) ()内幼稚兼分
	<p>教育目標 「人と人のかかわりを大切にし、 心豊かな子どもの育成を目指す」</p> <p>【心豊かに たくましい子】 ○自分でできることは 自分でする子 ○よく考え 行動できる子 ○早寝・早起き・元気な子</p> <p>研究主題 ○研究主題 「主体的に関わる子の育成をめざして」 ～食育を通して～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域との連携、交流活動 ・農園活動、食育指導（JA青年部） ・きののみっこ広場開催 ・環境整備友の会との交流 ・地区行事への参加 幼小連携教育の推進 ・園児、児童の日常交流 ・交流活動、行事への参加 ・通信の交流、情報交換 地域資源の活用 ・温水プール利用 ・図書館によるお話会、図書貸し出し ・福祉施設ふれあい訪問 	
<p>沿革</p> <p>昭和28年 4月 黄海小学校に幼児教室開設 29年 4月 福祉協議会による幼児教室開設 37年 4月 藤沢町立黄海保育園創立 56年 4月 町立黄海幼稚園設立 57年 2月 現在地に園舎新築移転</p> <p>平成23年 9月 一関市立黄海幼稚園・保育園に改称 24年 4月 一関市立黄海こども園となる 27年 4月 定員 1号認定50名 2号認定27名・3号認定18名</p>		

学校法人 東北カトリック学園 愛心幼稚園	〒021-0884 一関市大手町7-5 TEL: 23-5431 FAX: 23-7166 E-mail: aishin@tohoku-catholic.ac.jp	園長: 小坂 恵子 教職員数: 8名 園児数: 74名 学級数: 4
	<p>教育目標 本学園の教育は、幼児が神の愛に生かされていることを喜び、 神から与えられた心身の能力を伸ばし、個性を認め、主体的に行動できる人間となるようになるための基礎の育成を目指します。</p> <p>研究主題 チーム保育活動の中で、異年齢児との関わりを通して思いやりの心情を育む</p> <p>特色ある教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分から意欲的に行動するように励まし、一人一人と向き合っ て保育します。 自分の思う事を言葉で伝えられるよう、また自分のことは自分 でできるように援助します。 友達と夢中になって遊ぶことができるように環境を整えます。 子供の中にある興味や関心をよびさますように喜んで取り組める 活動を支援します。 (体操教室、楽器演奏、英語教室、書道教室、水泳教室、田植え、 クッキング、等) 	
<p>沿革</p> <p>1953年 5月 オスカー・エグロフ師（スイス人宣教師）に より定員120名で設立 1957年 2月 設置者をベトレム外国宣教会に変更 1959年 1月 新園舎落成、定員240名 6学級に変更 1959年 7月 スクールバスによる通園開始 1964年 4月 ヨゼフ・フーゲントブレル師第2代園長 1967年 3月 園舎増築、木造モルタル103㎡ 1967年 4月 設置者を宗教法人ベトレム外国宣教会から カトリック仙台司教区に移管 1978年12月 定員265名 8学級に変更 1982年10月 新園舎落成、鉄筋コンクリート2階建て 1,272㎡</p> <p>1986年 4月 宗教法人立から学校法人「東北カトリック学 園立」となった。 学園は29園、青森に12園、岩手県に6園、宮 城県に8園、福島県に3園を擁する。</p> <p>2002年 4月 佐藤守也師第九代園長</p>		

**学校法人東北カトリック学園
カトリック清心幼稚園**

〒029-0803
一関市千坂町千坂字町浦47-1
TEL: 52-2485 FAX: 52-2911
E-mail: s-seishin@tohoku-catholic.ac.jp

園長: 菅原裕子
教職員数: 5名
園児数: 34名
学級数: 3



沿革

- 昭和30年 2月 設立認可を受ける
設立母体(宗法)ベトレム外国宣教会
定員120名 4学級
- 30年 4月 第1回入園式挙行
初年度110名入園
- 45年 4月 園名を「カトリック清心幼稚園」と
改称
- 50年 4月 設置者変更「宗教法人カトリック仙
台司教区」と変更
- 61年 4月 学校法人東北カトリック学園設立に
伴い移管(岩手7園、青森12園、宮
城8園、福島3園を擁す)
- 平成 7年 3月 新園舎完成
30年 4月 子ども・子育て支援新制度に移行

教育目標

当園の教育は、幼児たちがキリストの愛に生かされ、神から与えられた心身の能力を最大限に生かしながら、個性を豊かにし、主体的に行動できる人間となることを願い、その基礎育成を日指します。

人間には素晴らしい能力、素晴らしい自然が与えられていることを踏まえ、価値ある人生を送ることができるために、神を、隣人を、自分を、そして自然界を大切に愛する心を育てる事が当園の教育目標です。

研究主題

保育実践

～子供とともに作り出す“活動と環境”～

特色ある教育活動

剣道と茶道と英語を取り入れています

- ・剣道では、身体各部の発達を促し、併せて積極的にことに当たる精神を養っています。
- ・茶道では、日常におけるマナーを知り、礼儀正しく行動し、豊かな心を養っています。
- ・英語では、歌・踊り・ゲームを通して英語とふれあいながら、アルファベットや挨拶などの基本を楽しく学ぶ活動を行っています。

**学校法人 里中山学園
認定龍澤寺こども園**

URL: <http://rityuzan.ac.jp/>

〒021-0011
一関市山日町三丁目2-19
TEL: 26-4821 FAX: 21-5600
E-mail: kodomoen@rityuzan.ac.jp

園長: 塩竈素明
教職員数: 38名
園児数: 128名(42)
学級数: 9(5) ()内幼稚科兼分



沿革

- 昭和23年 6月 6日 県知事により龍澤寺幼稚園認可
23年 9月 1日 龍澤寺幼稚園開園
30年 4月 10日 新園舎開園
51年 7月 27日 (学)里中山学園へ設置者変更
平成10年12月12日 新園舎落成並びに創立50周年記念式典挙行
- 14年12月 1日 「なかさと保育園」開園
18年 6月 1日 「なかさと保育園分園」開園
20年 9月 1日 創立60周年記念式典挙行
25年 5月 31日 遊戯室「希望館」新築
25年 9月 1日 幼保連携型 認定龍澤寺こども園認定
- 27年 4月 1日 子ども・子育て支援制度に移行
30年 3月 31日 園舎改築及び「子育て支援率」増築
令和 2年 8月 20日 運動場、駐車場竣工

基本理念

～仏教保育を通じて『ともに学び ともに育つ』

基本目標

- のびのびと心豊かな自己表現ができる子ども
- 思いやりと思考力が豊富な子ども
- 丈夫で元気に遊び、毎日が楽しく過ごせる子ども
- 基本的な生活習慣を身に付け、主体的に行動できる子ども

研究主題

「健康な心と体を育む」

体力づくり運動・体を使った遊びを通して
体を動かすことが大好きな子どもを育てる


特色ある教育活動

- 〈仏教教育〉 日常の活動や、週1回の木堂参りの中で「仏教の教え」を知り、命の大切さや感謝の気持ちを持つ
- 〈遊 び〉 自然豊かな環境の中で主体的な遊びが充実できるようにする
- 〈食育活動〉 食育指導や米・野菜作りとクッキングを通して食に関心を持つ外部講師による活動
- 〈お 茶 会〉 お茶会の「静」の時間の中で、日本の文化や礼儀を学び、豊かな心を育む
- 〈音楽リズム教室〉 歌ったり踊ったり演奏したりする中で音楽を楽しく学ぶ
- 〈体育教室〉 楽しみながら運動することで健康な体をつくり、集団活動のルールも学ぶ
- 〈英語教室〉 歌・ダンス・ゲームを取り入れて、楽しく英語を学ぶ

学校法人 健康科学大学 修紅短期大学附属認定こども園 URL : http://www.shuko.ac.jp/kg/	〒021-0902 一関市萩荘字竹藪71-2 TEL : 24-5005 FAX : 24-5006 E-mail : youchien@shuko.ac.jp	園長 : 黒澤 由佳 副園長 : 小野寺 郁子 教職員数 : 35名 園児数 : 212名(46) 学級数 : 9(3) ()内幼稚園分
	教育目標 「にこにこ びんびん みんななかよく なにかでひとより」 1. 未分化時代の幼児の夢の世界を大切に育てる。 2. 心身の発達段階に応じた基礎能力を養う。 3. 情緒の安定した創造力のある明るい元気な子どもを育てる。	
沿革 昭和32年 1月 修紅短期大学附属幼稚園の設立許可を受ける(2学級) 32年 4月 修紅短期大学附属幼稚園小梨良園長に就任 52年 8月 定員180名を270名に変更(7学級) 60年 4月 麻生東北短期大学附属幼稚園に名称変更 平成12年12月 満3歳児学級ひよこ組開設 13年 4月 修紅短期大学附属幼稚園に名称変更 21年 4月 新園舎完成(所在地を東花王町から修紅短期大学校地に移す) 25年 3月 満3歳児学級ひよこ組終了 25年 4月 修紅短期大学附属認定こども園の認定取得		
研究主題 幼児一人ひとりの主体性を育む環境の構成と教師の援助の在り方を探る。		
特色ある教育活動 遊びを中心とした生活を展開し、友達との関わりの中で一人一人の幼児が生きていくための基礎となる力や生活の規律を身につけるために自然体験、社会体験など様々な体験活動を重視している。 ・水と砂をふんだんに使った遊びを豊富に体験する。 ・小動物の飼育や、花や野菜を育て収穫の喜びを味わわせるなど、四季折々の自然を身近に体得する。 ・外国人英語教師を招き、遊びを通して異文化に触れ、国際理解の素地を育成する。 ・未就園児教室や、おもちゃ図書館を開設し、子育て支援の一助としている。 ・体育講師による幼児体育は、身体を動かす楽しさや、情緒の安定をはかり、子どもらしさ、自分らしさを表現する喜びへとつながります。		


学校法人 願成寺学園 認定こども園一関幼稚園 URL : http://www.at-ml.jp/57703	〒021-0874 一関市字釣山31-4 TEL : 23-5153 FAX : 23-5259 E-mail : ichi-you@samba.ocn.ne.jp	園長 : 佐々木 泰子 教職員数 : 40名 園児数 : 172名(66) 学級数 : 9(6) ()内幼稚園分
	基本理念 『慈悲心と菩薩道』 人の喜び、悲しみを自分も共感し、自分のこととして感ずることのできる、そして人に対する思いやりを尊ぶことです。	
沿革 昭和32. 4. 1 一関学院幼稚園閉園 32. 9. 1 学校法人 一関学院に編入 46.12.17 放火により園舎全焼 47. 8.20 新園舎完成 52. 8.10 一関学院幼稚園設置者変更により願成寺学園一関幼稚園となる 54. 4. 1 「リズム遊び」に取り組む 61. 4. 7 預かり保育開始 平成10. 1. 1 理事長芳川順一氏死去 10.12.28 竹内一信理事長就任 17. 8.24 芳川春彦理事長就任 18. 4 園舎外装の整備 19.11 創立50周年記念式典 21. 4 満3歳児学級たんぽぽ組開設 26.12 新園舎完成 27. 4 幼保連携型認定こども園に移行		
教育目標 1. 健康で明るい子供 2. 力を合わせて仲良く遊ぶ子供 3. 優しい思いやりがあつて素直な子供 4. 自分の事は自分で出来る子供 5. のびのびと表現し創造性豊かな子供		
研究主題 「養育の形成と発達を理解を深め、子供たちの主体性を育むには」		
特色ある教育活動 《遊びを通しての学び》 子供が興味や関心をもって環境に関わりながら、自ら考え工夫して遊びが展開される経験を重ねていける機会を大事にする。 《リズム遊び》 心身共に健康で伸び伸びとした子供に育ってほしいという願いを込めて、音楽に合わせて這うこと、歩くこと、走ることを主とした、リズム遊びに取り組んでいる。 《読み聞かせは心のスキンシップ》 絵本を見ながら先生のお話を聞き、子供達はイメージを膨らませ、物語を通して言葉や絵、音の世界が心を豊かにし、感性や想像力を育みます。 《坐禅》 坐禅を通して自分と向き合い、心を癒えることを学ぶ。 《英語で遊ぼう》 カナダ人講師を迎え、遊びや生きた英語を通して異文化に触れ、国際性を学ぶ。		

社会福祉法人 一関南保育園 認定こども園 一関南保育園	〒021-0851 一関市関が丘30-1 TEL: 26-2521 FAX: 25-2526 E-mail: minami07@ec4.technowave.ne.jp	園長: 川村 公美子 教職員数: 21名 園児数: 59名(7) 学級数: 6(3) ()内幼稚課分
	教育目標 「心も 身体も たくましい子どもに育てる」 1. 親から保育士へ 保育士から親へ 2. 返事、挨拶ができる子ども 3. 明るく、和やかな雰囲気 研究主題 家庭との食育活動の連携を目指して、 日々の保育の在り方を探り、 子どもの心身の健康と発達を促す	
沿革 昭和48年 9月 法人設立 50年 4月 一関南保育園開園 平成26年 3月 園舎改築 28年 4月 認定こども園認可 幼保連携型認定こども園 「認定こども園 一関南保育園」開園 (定員2、3号認定60名 1号認定10名)	特色ある教育活動 ・生活を通して生きる力を育成するように、認定こども園法第9条に規定する教育及び保育の目標の達成に努めます。 ・毎月1回のお話の会(専門ボランティアの先生による読み聞かせ)、巡回図書バスを利用し本に親しむ機会を設けています。 ・栄養士による食育講座、毎月1回のクッキング(3歳以上児)、異年齢児で野菜を育てる活動を通して食育活動に力を入れています。 ・音楽に合わせたリトミック・ストレッチなどを取り入れたり、投てき板、雲梯、室内鉄棒や跳び箱、縄跳びやマット運動などの運動遊びを充実させています。5歳児は卒園までに逆上がり、側転、縄跳び、跳び箱ができることを目標にしており、できるんだ!という達成感を味わわせて自信につなげています。	

社会福祉法人 赤荻保育園 認定こども園 赤荻保育園	〒021-0041 一関市赤荻字清水8-5 TEL: 25-4327 FAX: 25-4344 E-mail: akaho@vega.ocn.ne.jp	園長: 荻野 直人 教職員数: 24名 園児数: 87名(6) 学級数: 6(3) ()内幼稚課分
	教育目標 ○子どもの健康と安全を基本として、清く 明るく 直く 正しく 強い子に育てる ○立派な社会人としての基礎を培い育てる ○正しく考えやりぬく子 ○豊かな心を持ってみんなと協力できる子 ○すなおでたくましい子 ○他人に迷惑をかけず心身共に健康な子	
沿革 昭和52年 8月26日 保育園設立認可 53年 4月 1日 保育園設置認可 平成 3年 4月 1日 厚生省エンゼルプランによる乳 児保育開始 7年 4月 1日 延長保育 平成 8年10月 1日 休日保育 22年 3月20日 改築・移転 28年 1月25日 認定こども園認可 28年 4月 1日 認定こども園設置	研究主題 神道精神の理念のもと 社会、家庭生活の中で敬神崇祖の観念を中心とした思想道徳 における根幹的存在を保育にいかす 特色ある教育活動 ・お茶会 ・体育教室 ・豊栄舞・浦安の舞 ・食育活動	


社会福祉法人 ふじの園 認定こども園 一関藤保育園	〒021-0864 一関市旭町5-15 TEL：23-3356 FAX：23-3357 E-mail：	園長：斎藤 志華子 教職員数：24名 園児数：104名(14) 学級数：6(3) ()内幼稚園分
	教育目標 明るく元気で困難、失敗を恐れず、意欲的に最後まで取り組む力 思いやり、感謝の心、奉仕の心 自ら考えて行動する力	
沿革 昭和34年10月 ベトレヘム宣教会司祭の招きでキリスト教の精神に基づき「一関藤保育園」の名称で開園 35年 5月 定員60名にて設置認可 42年 4月 0歳児保育の受諾と定員30名増90名となる 56年 4月 モンテッソーリ教育法による一環保育をめざし縦割制を実施 令和 2年 4月 認定こども園に移行 幼保連携型認定こども園一関藤保育園開園 2年 5月 新園舎落成	研究主題 ・キリスト教的精神のもと、教育指導の中における宗教的諸理念の結合 ・モンテッソーリ教育の精神指導を通じ園児ひとりひとりに備わる創造的能力と人格の独立性の発展 特色ある教育活動 ◎キリスト教的情操教育 ◎モンテッソーリ教育 モンテッソーリ教具による個別指導を中心とした自由選択活動の環境を設定し、午前中の保育時間に取り組み、集中して活動することで、自己決定、自立へ導く ◎クッキング教育・食育 ◎特別支援教育・音楽療法 ◎リズム運動・リトミック・わらべうた	

社会福祉法人 さいわい会 認定こども園 幸町保育園	〒021-0024 一関市幸町1-14 TEL：21-0370 FAX：48-3480 E-mail：	園長：千葉 修 教職員数：25名 園児数：78名(6) 学級数：6(3) ()内幼稚園分
	教育目標 ○健康な子どもの育成 ○思いやりのある子どもの育成 ○善悪の区別がわかる子どもの育成 ○みんなと仲良くする子どもの育成 ○自分のことは自分でする子どもの育成	
沿革 昭和55年 4月 開園（社会福祉法人認可） 平成元年 4月 特別保育事業実施（乳児保育事業実施施設として指定）、その後、延長保育事業、休日保育事業、障害児保育事業を実施 10年 4月 定員変更 45名から55名に。 一時保育事業を実施 12年 7月 定員変更 55名から80名に。 一関市真楽に分園（定員25名）を開設 13年 4月 地域子育て支援センター（小規模型）を開設。（現在活動休止等） 15年10月 本園・園庭整備完了 23年 2月 本園・新園舎完成 23年 4月 定員80名から100名に。（内、分園25名） 令和 2年 4月 幼保連携型認定こども園に移行。 定員100名から106名に。（内、分園25名）	研究主題 一人ひとりの子どもたちが主体性をもち、様々な遊びや経験とおして生きる力の基礎を育むための援助の仕方を探る。 特色ある教育活動 ○小学校就学に向け、幼児期に身につけておきたい基礎作り 「英会話教室」 「ダンス教室」 「体育教室」 ○身体機能を高める運動あそび（0～5歳児） ○リズムあそび（0～5歳児） ○和太鼓指導（3～5歳児） ○分園園児（0～2歳児）との異年齢児交流 ○地域社会との交流 ○0歳児から行う食育活動 様々な経験とおし、思いやりの心や社会生活のルールを身につけられるよう働きかけるとともに、子どもが健康・安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることで、健全な心身の発達を図ります。	

認定こども園 桜 保 育 園	〒021-0807 一関市宇東花工町3 TEL: 23-5386 FAX: 23-7386 E-mail:	園 長: 佐 藤 美保子 教職員数: 25名 園 児 数: 88名(10) 学 級 数: 6(3) ()内幼稚クラス
	教育目標 「明るく たくましく」を合言葉に、子どものより良い成長を目指す 健康な心とからだ やさしくたくましい子 考える力 ・明るくたくましい子 ・友達を思いやるやさしい子 ・よく考えて行動できる子 ・運動を楽しむ子 ・豊かな感情をもった子 ・あきらめずにやり遂げる子 ・食事を楽しむ子 ・自ら進んで行動をする子 ・自分の意思を表現できる子	
沿 革 昭和23年 桜子供会結成 24年 6月 季節保育園開園 7月 桜保育園開園 8月 岩手県知事認可 53年 3月 社会福祉法人認可 54年 2月 新園舎落成 61年 4月 定員120名から90名に変更 平成 3年 4月 定員60名に変更 11年 4月 定員80名に変更 18年 4月 定員90名に変更 令和 3年 4月 幼保連携型認定こども園へ移行 定員99名に変更	研究主題 「いろいろな運動あそび、体験を通して自己発揮できる子を育むために」 特色ある教育活動 ・外部講師を招いての習字教室や体育教室を行っている。習字教室では字への興味を育み、集中力を培っている。体育教室では、幼児体育で身体を動かす楽しさや情緒の安定を図り、子どもらしさ、自分らしさを表現する喜びを味わう。 ・花や野菜の栽培、散歩などを通じ、四季を通して自然に親しみとともに、「食」への興味や意欲を持たせる。そして、様々な体験を通して、感動を味わうことができるような保育活動。	

社会福祉法人 たんぽぽ会 幼保連携型認定こども園 たんぽぽこども園	〒021-0041 一関市赤荻字下谷地212番地1 TEL: 33-2277 FAX: 25-6353 E-mail: tanpopo33@brown.plala.or.jp	園 長: 中 川 玲 子 教職員数: 23名 園 児 数: 70名(12) 学 級 数: 6(3) ()内幼稚クラス
	理 念 子どもを真ん中に共育ち・共育て 保育・教育目標 ・身体丈夫な子 ・自分で考え、行動する子 ・楽しむ子 基本方針 ・一人一人の発達に応じた保育及び教育を実践する ・保護者と連携し、保育及び教育の方針を共有する ・保育及び教育の内容の質を高める 研究主題 こどもの絵をどう読み解くか 特色ある教育活動 ★自然と触れあう活動 水と土と太陽に触れる保育・教育 はだし保育、テレビを見せない保育 散歩(年齢×1kmを日安) うたとリズムを取り入れた保育、園内お泊り 年中・年長の登山 園外お泊り(沢遊び、雪遊び、交流保育) ★食を重視 食べ物や自然に関心を育てるための畑づくり 完全無農薬米、きび砂糖、醸造調味料、山地酪農牛乳 オリーブオイル等添加物の少ない食材 完全給食(主食も含む)、一汁二菜・手作りのおやつ	
沿 革 昭和41年 9月 一関共同乳児保育所たんぽぽ保育園開設 平成15年10月 社会福祉法人たんぽぽ会成立 16年 3月 児童福祉施設認可・定員45名 16年 4月 たんぽぽ保育園開園 延長保育事業・一時預かり保育事業を開始 22年 4月 定員60名に変更 31年 4月 第3園庭を取得(1502㎡) ジャングルジム、鉄棒、タイヤ、登攀棒、築山整備 令和 4年 3月 幼保連携型認定こども園認可 4年 3月 たんぽぽこども園に改称 定員75名 (2・3号保育認定60名・1号教育認定15名)		

学校法人 華泉学園 幼保連携認定こども園 花泉こども園	〒029-3103 一関市花泉町老松字水沢9番 TEL: 82-4248 FAX: 82-4493 E-mail: hanaizumiyoutien@nuc.biglobe.ne.jp	園長: 高橋 仁 省 教職員数: 25名 園児数: 63名(14) 学級数: 6(3) ()内幼稚課分
	教育目標 1. げんきで、あかるく、すなおなこどもになろう。 2. よくみ、よくきき、よくかんがえるこどもになろう。 3. 決まりをまもり、いたわりのきもちをもつこどもになろう。	
沿革 昭和27年 7月 開園 30年 4月 花泉幼稚園として知事認可 50年 4月 学校法人華泉学園 花泉幼稚園として法人認可取得 10月 新園舎完成 60年 4月 定員120名を170名に変更 園舎増築(3クラス→5クラスへ) 平成11年 3月 園舎内外改修工事 26年 4月 移転改築(花泉地区から老松地区へ) 幼保連携型 認定こども園認可取得 花と泉の保育園開所 27年 4月 新幼保連携施設へ移行し 認定花泉こども園へ名称変更	研究主題 子どもたちの活動や遊びにおいて、内容の充実・発展につながる環境を構成するために教師が行う配慮の仕方を探る	
	特色ある教育活動 ◇恵まれた自然環境を生かし心ゆたかに、かしこく、たくましい子どもになるように、幅広い領域に渡って保育を行っています。 ◇一人ひとりを尊重し個性に合わせて保育を行っています。 ◇教育は家庭と園の一体が大切なことから、連携を図り保育を行っています。 ◇子どもの個性と創造性のある遊びを通して育てる知能教育(知能教材:めんたるぶれい)や専任教師との関わりを楽しみながら行う英語教室、体育教室など幼児期における学ぶ楽しさや、体を動かす楽しさに触れ、様々な活動を行っています。	

社会福祉法人 花泉福祉会 認定こども園 花泉保育園	〒029-3101 一関市花泉町花泉字田東93 TEL: 82-2167 FAX: 82-3123 E-mail: hana-ho@r6.dion.ne.jp	園長: 宇津野 弘 人 教職員数: 38名 園児数: 92名(19) 学級数: 6(3) ()内幼稚課分
	教育目標 3つの目標を掲げ、豊かな経験を通して「生きる力」の基礎を育みます。 1. 命、友達、物を大切にする子ども 2. 自分のことは自分でする子ども 3. 考えて行動できる子ども	
沿革 昭和44年 4月 花泉保育園開設 47年 2月 社会福祉法人認可取得 3月 花泉保育園設置認可 56年12月 園舎改築、乳幼児保育開始 平成15年 3月 園舎移転新築・園章制定 4月 一時保育事業開始 26年 4月 体調不良児対応保育事業開始 30年 4月 幼保連携型認定こども園設立認可	研究主題 「子ども主体の教育保育環境」 子どもたちがともに考え、学び、育ちあうための環境づくり	
	特色ある教育活動 ○仏教の教えのもと「思いやりの心」「うやまう心」を育てます。 ○広い園庭には、自然に触れる環境を整え、じゃぶじゃぶ池や築山、身体機能育成に有効な遊具などの豊かな環境を通して、たくましい身体作りに努めます。 ○専門員による体育指導や英語レッスンを導入し、年間を通してたくさんの方々の活動を行っています。 ○音楽に合わせてからだを動かす「リズム遊び」や「よさこい」、伝統文化「和太鼓」「茶道おけいこ」などの経験をし、豊かなこころを育てます。	

**社会福祉法人 洗心福祉会
公私連携幼保連携型認定こども園
わくつこども園**

〒029-3205
一関市花泉町字涌津字悪法師38-312
TEL: 82-4143 FAX: 82-4285
E-mail: sensinfukusikai@abelia.ocn.ne.jp

園長: 菊池昌弘
教職員数: 24名
園児数: 78名(7)
学級数: 6(3) ()内幼稚園分



基本理念

素直な心
相手を思いやる心を育む

教育目標

- 1 いつも笑顔で すなおな子供
- 2 自律心を育て 礼儀正しく
- 3 正しい交通ルールを守り宗教心を育てる

研究主題

様々な関わり、経験を通して豊かな人格形成の基礎を促していく環境と保育教諭の在り方を考える

特色ある教育活動

- 〈坐禅〉
礼拝、坐禅を通して、心を整える時間を設ける。
- 〈広々とした園庭〉
自然豊かな恵まれた園庭でのびのびと自主的な遊びを展開。
- 〈いけばな教室〉
毎月のお稽古で草花に親しみ、落ち着いた雰囲気の中で活動に取り組んでいく。
- 〈創造教室〉
0歳児から5歳児各クラスに応じた造形活動を中心にダイナミックな活動や遊びの時間。
- 〈茶道教室〉
お互いを思いやりながら、挨拶の大切さや皆でお抹茶、お菓子を通して楽しさを味わう。

沿革

- 昭和43年 1月 1日 涌津保育園(定員60名)開園
- 4月15日 社会福祉法人洗心福祉会涌津保育園として法人認可
- 平成 8年 9月 園舎を増築
- 10年 4月 1日 定員を90名に変更する
- 14年 4月 1日 定員120名に変更
- 28年 4月 1日 定員90名に変更
- 31年 4月 1日 公私連携幼保連携型認定こども園わくつこども園へ名称変更
定員123名
- 令和 3年 4月 1日 定員を95名に変更

**社会福祉法人 かざわ福祉会
認定こども園
金沢保育園**

〒029-3102
一関市花泉町金沢字大柳60-1
TEL: 82-3312 FAX: 82-3373
E-mail: kazawa_ho@ad.auone-net.jp

園長: 村上国城
教職員数: 20名
園児数: 81名(6)
学級数: 6() ()内幼稚園分



教育目標

- ～豊かな人間性をもった子どもを育成します～
- 明るく元気に、仲間と助け合いいろいろな体験を通し豊かな感性と創造のできる子を育てます。
- 1. 元気な子ども
- 2. 仲のよい子ども
- 3. 考える子ども

研究主題

「いきいきと活動する子どもの育成」
友達とのかかわりを重視した遊びや体験活動を重視し、安心して遊べる環境作りを考える。

特徴ある教育活動

- 〈食育〉
「食」についての興味や関心を育て、野菜作りやクッキング等各年齢に応じた食育に取り組んでいます。
- 〈仏教〉
仏教の行事や坐禅会にて、「生命を大切に」「仲間を大切に」「善い行いをする」ことを学び、感謝の心や道徳心を育てます。
- 〈学び〉
専門の講師を招いて、楽しく遊びながら体育教室と英語教室を学んでいます。また、日常生活の体験を通じて「自分」「仲間」「社会」を知る学びを大切にしています。
- 〈遊び〉
恵まれた自然環境を活動に生かし、野山の散歩等の活動や遊びを通して自然を大切にすると、健康な心を培います。

沿革

- 昭和30年 4月 金沢保育園開園
- 32年 8月 社会福祉法人認可取得
- 平成13年 3月 園舎新築
- 令和 2年 3月 乳児室増築
- 2年 4月 幼保連携型認定こども園
金沢保育園へ移行(定員118名)

学校法人 愛泉学園認定こども園
千厩小羊幼稚園
千厩こひつじ園
 URL: <http://www.kohituji-kk.com/>

〒029-0803
 一関市千厩町千厩字北方130-2
 TEL: 52-5244 FAX: 52-5841

園長: 三浦 静子
 教職員数: 17名
 園児数: 67名(32)
 学級数: 7(4) ()内幼稚課分



園教育目標

幼児の与えられている可能性は計りしれないものがあり、その人格形成は、一朝一夕でなるものではありませんが、私どもは、その基礎を作り、その充実発展を期待しながら心身ともに健康で心豊かなたくましい人間づくりを目指し、次の幼児像を設定して、園・地域ぐるみでこれに取り組むようにしています。

1. 神を愛し人々を愛する子ども
2. 自分のことは自分でする子ども
3. 友だちと仲良く遊べる子ども
4. 物を創り出す子ども

研究主題

特別な支援を必要とする幼児の状態等に応じた計画的・組織的な指導のあり方について考える。

特色ある教育活動

- ① 礼拝を守る
 一日の中で友達と一緒に祈りをしながら私たちの気持ちをやさしい神様に向け、心から感謝や望み、そして願いを語りかける平和な落ち着いたひとときを持つようにしている。
- ② 積極的な体力づくり
 イ、長期にわたるプール遊び5月～10月
 ロ、皮フ鍛練(乾布摩擦、園内裸足運動)
- ③ 地域交流
 イ、地域との触れ合いを求めて職場慰問(花の日、収穫勤労感謝)
 ロ、高校生との共同作業(さつまいも苗植え～収穫)
- ④ 乳幼児と学童児の交流
 おやつ作り体験や季節の行事を通して交流を深めている。
- ⑤ 食育
 農園作りと食育への関連を深める。

沿革

- 昭和30年 4月 日本基督教団千厩教会「週間教会学校幼児科」開設
- 31年 4月 保育室と教師館を併設した会堂を建設「こひつじ園」として幼児を募集(湯澤裕教師)
- 36年 3月 尾友三郎教師着任、こひつじ園園長に就任
- 42年 3月 「こひつじ幼稚園」の認可を得る
- 51年 9月 尾友三郎教師・園長急逝
- 52年 尾秀子氏こひつじ幼稚園園長に就任
- 56年12月 「学校法人愛泉学園」寄附行為及び千厩小羊幼稚園が認可される
- 平成20年 9月 「認可こども園」幼稚園型(認可外保育施設併設)認定
- 22年 5月 保育園設置認可を取得する(千厩こひつじ園)
- 22年 6月 認定こども園「幼保連携型」に変更する
- 27年 4月 「子ども・子育て支援新制度」に移行

V 学 校 保 健

1 児 童 ・ 生 徒 の 健 康

◆令和3年度身長・体重（男女別平均値）

学 年		区 分	身 長 (cm)			体 重 (kg)		
			全 国	岩手県	一関市	全 国	岩手県	一関市
小 学 校	1年	男	117.5	117.1	116.9	22.0	22.4	22.4
		女	116.7	116.0	116.0	21.5	21.7	21.9
	2年	男	123.5	122.8	122.8	24.9	25.2	25.3
		女	122.6	121.9	122.1	24.3	24.4	25.1
	3年	男	129.1	128.6	128.9	28.4	27.9	29.1
		女	128.5	127.8	128.0	27.4	27.9	28.0
	4年	男	134.5	134.5	133.9	32.0	32.6	31.6
		女	134.8	133.8	134.6	31.1	31.0	32.1
	5年	男	140.1	139.5	139.5	35.9	35.9	35.9
		女	141.5	140.6	140.6	35.4	36.2	36.3
	6年	男	146.6	145.5	146.4	40.4	40.3	41.3
		女	148.0	147.3	147.6	40.3	40.5	41.2
中 学 校	1年	男	154.3	153.0	154.0	45.8	46.1	47.2
		女	152.6	151.8	152.2	44.5	45.2	46.3
	2年	男	161.4	161.0	160.4	50.9	51.6	50.6
		女	155.2	154.8	154.6	47.9	48.5	48.5
	3年	男	166.1	165.5	166.3	55.2	56.4	57.0
		女	156.7	156.3	156.5	50.2	50.8	50.7

2 学校保健団体等

(1) 令和4年度一関市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

【小学校】

R4.4.1現在

地域	学校名	内科	眼科	耳鼻科	歯科	薬剤師
一関	一関小学校	中野 淳平 佐藤 円人 木村 義人	二宮 修也	宍戸 潔	小家 雅子 佐藤 敏明 小野寺 大	小野寺 秀俊
	山目小学校	加藤 卓 小野寺 威夫 寺崎 公二	小原 啓之	菊池 淳	根本 昌幸 千田 隆一 本田 徹	小野寺 佳美
	赤荻小学校	伊藤 久雄 阿部 俊也	桑島 研一	小岩 哲夫	根本 昌幸 明石 雅江	伊藤 民子
	中里小学校	佐藤 伸孝	桑島 研一	笠原 正明	加藤 史仁	下田 はる美
	滝沢小学校	及川 登	小原 啓之	宍戸 潔	小岩 竜太郎	小野 佐由美
	南小学校	佐藤 重雄 水野 生一 桂島 忠俊	小原 啓之	宍戸 潔	千田 隆一 中川 善浩 久保田 宗次	小笠原 妃恵子
	弥栄小学校	長澤 茂	小原 啓之	宍戸 潔	橋本 和彦	星 牧子
	萩荘小学校	長澤 仁嗣 中野 淳平	二宮 修也	笠原 正明	梁川 輝行 近江 健司	小財 直子
	厳美小学校	山田 昌彦	桑島 研一	笠原 正明	村上 哲	畠山 歩
花泉	舞川小学校	西城 寛	小原 啓之	笠原 正明	伊藤 廣明	小野 泰孝
	永井小学校	菅原 忠興	二宮 修也	小岩 哲夫	佐藤 奨	多門 真知
	涌津小学校	菅原 忠興	二宮 修也	小岩 哲夫	佐藤 奨	昆野 洋平
	油島小学校	本多 聡	二宮 修也	小岩 哲夫	吉原 睦	畠山 歩
	花泉小学校	本多 聡	二宮 修也	小岩 哲夫	吉原 睦	高橋 浩太郎
	老松小学校	蓬田 邦彦	二宮 修也	小岩 哲夫	吉原 睦	多門 真知
大東	金沢小学校	本多 聡	二宮 修也	小岩 哲夫	佐藤 奨	工藤 鮎美
	大原小学校	吉田 浩昭	桑島 研一	笠原 正明	本多 洋之	渡邊 祐太
	大東小学校	薄田 徹 (猿沢診療所)	桑島 研一	笠原 正明	熊谷 博伸	梅森 康裕
	興田小学校	菊池 宰	二宮 修也	笠原 正明	佐藤 博幸	鈴木 里沙
千厩	猿沢小学校	薄田 徹 (猿沢診療所)	二宮 修也	笠原 正明	石岡 真理絵 (猿沢診療所)	佐藤 千香
	千厩小学校	角田 健也 岩本 浩之 菅原 正磨	小原 啓之	宍戸 潔	小原 健 (千厩歯科診療所) 畠山 康人 吉田 文和	白石 恵一
東山	東山小学校	齋藤 勝彦 阿部 康弘	桑島 研一	笠原 正明	三浦 康弘 伊藤 伸也	和賀 珠美
室根	室根小学校	古澤 健一 (室根診療所)	二宮 修也	笠原 正明	村上 智彦 (室根歯科診療所)	白石 恵一
川崎	川崎小学校	千田 貴之	二宮 修也	小岩 哲夫	佐藤 正孝	皆川 登
藤沢	藤沢小学校	鈴木 かおり (藤沢病院)	二宮 修也	宍戸 潔	千葉 康	佐藤 一朗
	黄海小学校	鈴木 かおり (藤沢病院)	二宮 修也	宍戸 潔	菊池 光博	佐藤 一朗
	新沼小学校	鈴木 かおり (藤沢病院)	二宮 修也	宍戸 潔	千葉 康	佐藤 一朗

【中学校】

地域	学校名	内科	眼科	耳鼻科	歯科	薬剤師
一関	一関中学校	長澤 茂夫 佐藤 文夫	小原 啓之	宍戸 潔	久保田 文吾 本田 吾徹	小笠原 慈夫
	磐井中学校	小野寺 威夫 寺崎 公二人 木村 義人	桑島 研一	小岩 哲夫	梁川 輝行 加藤 史仁 千葉 航	伊藤 和恵
	一関東中学校	菅野 記豊	小原 啓之	宍戸 潔	村上 哲	中野 輝美
	桜町中学校	及川 登郎 鈴木 徹	二宮 修也	宍戸 潔	近江 健司 橋本 和彦	高橋 諭
	萩荘中学校	及川 登	二宮 修也	笠原 正明	細井 隆夫	佐藤 渉
	巖美中学校	山田 昌彦	桑島 研一	笠原 正明	清野 精仁	岩井 確司
	舞川中学校	桂島 忠俊	小原 啓之	笠原 正明	小岩 竜太郎	小野寺 左岐子
花泉	花泉中学校 (内科は学年毎)	木村 義人 菅原 忠興 本多 聡	二宮 修也	小岩 哲夫	吉原 睦 佐藤 奨	工藤 鮎美
大東	大原中学校	薄田 徹 (猿沢診療所)	桑島 研一	笠原 正明	佐藤 博幸	和賀 珠美
	大東中学校	菅野 孝	桑島 研一	笠原 正明	石岡 真理絵 (猿沢診療所)	和賀 珠美
	興田中学校	菊池 宰	二宮 修也	笠原 正明	佐藤 博幸	鈴木 里沙
千厩	千厩中学校	谷藤 正人 盛合 理	小原 啓之	宍戸 潔	小家 雅幸	千葉 直子
東山	東山中学校	齋藤 勝彦	桑島 研一	笠原 正明	三浦 康弘	村上 達郎
室根	室根中学校	古澤 健一 (室根診療所)	二宮 修也	笠原 正明	村上 智彦 (室根歯科診療所)	白石 恵一
川崎	川崎中学校	千田 貴之	二宮 修也	小岩 哲夫	佐藤 正孝	皆川 登
藤沢	藤沢中学校	鈴木 かつお (藤沢病院)	二宮 修也	宍戸 潔	千葉 康	佐藤 一朗

【幼稚園】

地域	学校名	内科	眼科	耳鼻科	歯科	薬剤師
一関	舞川幼稚園	佐藤 重雄	小原 啓之	笠原 正明	加藤 史仁	阿部 清美
	真滝幼稚園	桂島 忠俊	小原 啓之	宍戸 潔	伊藤 廣明	千田 友紀子
	巖美幼稚園	加藤 卓	桑島 研一	笠原 正明	橋本 和彦	畠山 歩
	赤萩幼稚園	加藤 卓	桑島 研一	小岩 哲夫	小家 雅子	中村 ちあき
	萩荘幼稚園	鈴木 徹郎	二宮 修也	笠原 正明	清野 精仁	昆野 洋平
	狐禅寺幼稚園	及川 登	小原 啓之	笠原 正明	梁川 浩	千葉 久仁子
	弥栄幼稚園	長澤 茂	小原 啓之	宍戸 潔	久保田 智雄	小財 直子
大東	摺沢幼稚園	菅野 孝	桑島 研一	笠原 正明	熊谷 博伸	和賀 珠美

(2) 一関市学校保健会役員

役職名	氏名	職業等	勤務先・所属先等
顧問	寺崎 公二	医師	寺崎内科胃腸科医院 (一関市医師会 会長)
〃	金沢 純一	歯科医師	平泉歯科診療所 (一関歯科医師会 会長)
〃	小笠原 慈夫	薬剤師	かたくり薬局 (一関薬剤師会 会長)
〃	木村 博史	保健所長	一関保健所
〃	小菅 正晴	教育長	一関市教育委員会
会長	村上 泰夫	校長	中里小学校 (市校長会)
副会長	秋保 茂樹	医師	秋保クリニック (医師会)
〃	菅野 博貴	市P連 会長	大東小学校PTA会長 (市P連)
理事	齊藤 純也	医師	斉藤産婦人科医院 (市医師会)
〃	木村 義人	医師	木村消化器内科 (市医師会)
〃	小岩 哲夫	医師	こいわ耳鼻咽喉科・アレルギー科クリニック(市医師会)
〃	本田 徹	歯科医師	ホンダ歯科クリニック (歯科医師会)
〃	千田 敬	薬剤師	昭和病院 (薬剤師会)
〃	高橋 節子	養護教諭	一関東中学校 (養護教諭部会)
〃	尾形 千春	養護教諭	藤沢中学校 (養護教諭部会)
〃	大内田 敬子	栄養教諭	一関東中学校・真滝 学校給食センター
〃	及川 まゆみ	学校 栄養職員	花泉中学校・花泉学 校給食センター
〃	菅原 正樹	教育部 長	一関市教育委員会
監事	小笠原 浩	校長	赤荻小学校 (市校長会)
〃	藤野 真幸	市P連 監事	興田小学校PTA会長 (市P連)

(3) 一関市学校保健会評議員

番号	氏名	職業等	勤務先・所属先等
1	二宮 修也	医師	二宮眼科医院 (医師会)
2	土屋 輝夫	院長	岩手県立南光病院 (医師会)
3	菅原 康二	医師	菅原整形外科クリニック (医師会)
4	細井 隆夫	歯科医師	ほそい歯科クリニック (歯科医師会)
5	阿部 淳子	薬剤師	あさひ調剤薬局 (薬剤師会)

番号	氏名	所属校等	番号	氏名	所属校等
6	佐藤 孝泰	一関西地域 PTA	31	千葉 初代	猿沢小
7	浅野 裕美	一関北地域 PTA	32	千葉 弘恵	千厩小
8	小野寺 信介	一関東地域 PTA	33	及川 久美	東山小
9	菅原 芳久	花泉地域 PTA	34	佐々木 文子	藤沢小
10	渡邊 裕太郎	千厩・室根 地域PTA	35	新井 桃子	黄海小
11	渋谷 真之	東山・川崎・ 藤沢地域PTA	36	及川 美根子	新沼小
12	佐藤 聖子	一関小	37	山形 知美	室根小
13	千葉 友子	山日小	38	佐藤 葵	川崎小
14	蛭子井 楓	赤荻小	39	千葉 比佐子	一関中
15	内館 修子	中里小	40	佐藤 博子	磐井中
16	門田 治子	滝沢小	41	高橋 節子	一関東中
17	千葉 いずみ	南小	42	住吉 美保	桜町中
18	佐藤 愛	弥栄小	43	小野寺 雅子	萩荘中
19	須藤 智織	萩荘小	44	菅原 照子	厳美中
20	高原 悠以	厳美小	45	菅原 幸代	舞川中
21	高橋 由佳	舞川小	46	吉川 美奈子	花泉中
22	福土 育美	永井小	47	熊谷 百華	大原中
23	内田 理利子	涌津小	48	小山 ゆかり	大東中
24	千葉 伸江	油島小	49	今野 優真	興田中
25	大島 保乃実	花泉小	50	大友 久美子	千厩中
26	山田 理恵	老松小	51	安藤 琴音	東山中
27	渡邊 幸子	金沢小	52	尾形 千春	藤沢中
28	末 永小晴	大原小	53	千葉 トヨ子	室根中
29	菅原 佳織	大東小	54	高橋 紀子	川崎中
30	樋口 厚子	興田小	55	千葉 百合子	一関一附中

事務局：一関市立中里小学校内 TEL23-2231

事務局長：高橋 聡子

事務局員：佐藤 一恵 三浦 和江

(市教委) 金野 幸 吉田 傑

3 学校給食

(1) 学校給食の現状

令和4年5月1日現在

① 年間予定回数

小学校 170回

中学校 164回

② 給食費

小学校 単価 279円 年額 47,430円

中学校 単価 336円 年額 55,104円

③ その他

米飯給食は、週4日実施。

食物アレルギーを有する児童生徒に対しては、個別に対応。

④ 学校給食センター配食状況等

施設名	喫食者数 (教職員含む)	調理場の職員構成等	
		栄養教諭・学校栄養職員等	調理員
西部学校給食センター 所長:千葉 稔	23	栄養教諭 2名	委託
山目小学校	509	〒021-0902	
萩荘小学校	364	萩荘字境ノ神173	
巖美小学校	111	電話 32-2220 FAX 32-1115	
磐井中学校	507	開設:平成17年4月	
巖美中学校	80		
小3中2 計5校 小計	1,594		
西部第二学校給食センター 所長:黒川 俊之	15	栄養教諭 1名	委託
赤萩小学校	312	〒021-0902	
中里小学校	202	萩荘字境ノ神170-1	
萩荘中学校	204	電話 32-1600 FAX 32-1601	
他 平泉中学校 ※給食事務委託	199	開設:平成28年4月	
小2中2 計4校 小計	932		
真滝学校給食センター 所長:千葉 一枝	24	栄養教諭 1名	委託
一関小学校	654	〒029-0132	
南小学校	400	滝沢字水口103-63	
舞川小学校	103	電話 21-1320 FAX 21-1321	
滝沢小学校	156	開設:平成22年4月	
弥栄小学校	53		
一関東中学校	120		
舞川中学校	47		
小5中2 計7校 小計	1,557		

施設名	喫食者数 (教職員含む)	調理場の職員構成等	
		栄養教諭・学校栄養職員等	調理員
花泉学校給食センター 所長:小野寺邦芳	26	学校栄養職員 1名	委託
永井小学校	89	〒029-3205	
涌津小学校	130	花泉町涌津字松子沢21	
油島小学校	42	電話 82-3615 FAX 82-3357	
花泉小学校	147	開設:昭和48年4月	
老松小学校	99	改築:平成13年4月	
金沢小学校	94		
黄海小学校	96		
花泉中学校	328		
一関中学校	219		
桜町中学校	295		
小7中3 計10校 小計	1,565		
大東学校給食センター 所長:菅原 春彦	21	栄養教諭 1名	委託
大原小学校	110	〒029-0523	
大東小学校	238	大東町摺沢字上塚ノ沢37-1	
猿沢小学校	70	電話 75-2774 FAX 75-2789	
興田小学校	72	開設:平成20年4月	
東山小学校	236		
大原中学校	63		
大東中学校	188		
興田中学校	63		
東山中学校	153		
他 摺沢幼稚園	18	※補食給食	
小5中4園1 計10施設 小計	1,232		
千厩学校給食センター 所長:橋本 雅郎	22	栄養教諭 1名	委託
千厩小学校	425	〒029-0803	
清明支援学校千厩分教室小学部	19	千厩町千厩字上駒場290-1	
室根小学校	158	電話 51-3066 FAX 51-3067	
川崎小学校	139	開設:平成25年4月	
藤沢小学校	171		
新沼小学校	48		
千厩中学校	259		
清明支援学校千厩分教室中学部	13		
室根中学校	109		
川崎中学校	169		
藤沢中学校	65		
小6中5 計11校 小計	1,597		
全体	合計	人	
6施設	8,477	7	

(2) 学校給食センター

<h2 style="text-align: center;">西部学校給食センター</h2>	〒021-0902 一関市萩荘字境ノ神173 TEL : 32-2220 FAX : 32-1115 E-mail : seikyu@city.ichinoseki.iwate.jp	所 長 : 千 葉 稔 職 員 等 : 職員 4 人、委託 19 人 配食校数 : 5 校 調理能力 : 2,100 食
 <p>沿 革</p> <p>平成17年 4 月 旧一関市初の給食センターとして、萩荘小学校の隣接地に開設。達古袋小学校、厳美小学校、厳美中学校、中里中学校、山目中学校、萩荘小学校、萩荘中学校の 7 校へ供給。 調理能力 2,100 食</p> <p>平成22年 4 月 山目小学校へ供給を開始し、8 校へ供給。</p> <p>平成25年 4 月 達古袋小学校が厳美小学校に統合し、7 校へ供給。</p> <p>平成27年 4 月 中里中学校と山目中学校の統合と、本寺小中学校の共同調理場の廃止に伴う本寺小中学校への供給開始により、8 校に供給。</p> <p>平成28年 4 月 調理業務を民間委託。萩荘中学校が西部第二給食センターからの供給となり、7 校に供給。</p> <p>平成30年 4 月 本寺小学校と厳美小学校、本寺中学校と厳美中学校の統合により、5 校に供給。</p>	<p>魅力ある食事の工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地元食材を積極的に使用している。 ② 目で楽しむことを念頭に彩り良い食材を選択している。 ③ 季節に合ったメニューと合わせ、季節行事にこだわった食事やデザートを提供することになっている。 ④ その日のメニューの意味やいわれを説明したものを学校に提供し、昼時間に放送するなど給食に興味が出るよう工夫している。 <p>食材の確保</p> <p>4 つの産直代表等で組織する「食材供給連絡協議会」の協力により、地元中心の食材の確保に努めている。</p> <p>学校との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 6 月の食育月間には、春の交流給食として、地元の食材生産者等や食材取扱い業者の団体（給食センター食材供給産直連絡協議会）の代表が、希望のあった学校の子供たちと一緒に給食を食べる機会を作っている。 ② 1 月には全国学校給食週間に合わせ、いろいろな地方の郷土料理や様々な国の料理などを提供するとともに、実際に給食を作っている調理員全員による、萩荘小学校での交流給食を実施している。 <p>施設の概要</p> <p>【構 造】鉄骨造平屋建 【床 面 積】1,002.62㎡ 【敷地面積】40,062.75㎡ 【厨房方式】ドライシステム方式</p>	

<h2 style="text-align: center;">西部第二学校給食センター</h2>	〒021-0902 一関市萩荘字境ノ神170-1 TEL : 32-1600 FAX : 32-1601 E-mail : seikyuni@city.ichinoseki.iwate.jp	所 長 : 黒 川 俊 之 職 員 等 : 職員 3 人、委託 13 人 配食校数 : 4 校 調理能力 : 1,000 食
 <p>沿 革</p> <p>平成28年 4 月 一関市内の小中学校全給食センター化を実現するため、西部学校給食センターの隣接地に開設。赤萩小学校、中里小学校、萩荘中学校、平泉中学校の 4 校へ供給を開始。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理は業者委託とし、調理能力は1日1,000食。 ・熱源は電気とガスの併用。 ・配送はコンテナ車3台による業務委託。 	<p>魅力ある食事の工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地元食材を積極的に使用している。 ② 目で楽しむことを念頭に彩り良い食材を選択している。 ③ 季節に合ったメニューと合わせ、季節行事にこだわった食事やデザートを提供している。 ④ その日のメニューの意味やいわれを説明したものを学校に提供し、昼時間に放送するなど給食に興味が出るよう工夫している。 <p>食材の確保</p> <p>4 つの産直代表等で組織する「食材供給連絡協議会」の協力により、地元中心の食材の確保に努めている。</p> <p>施設の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 調理場の床を常に乾いた状態にして菌の繁殖や水はねによる二次汚染を防止するドライシステムを採用。 ② 食材検収前室を2ヶ所とし、魚肉卵類と野菜果物類を分けて搬入し、食材の交差による汚染防止や作業の安全性を確保。 ③ アレルギー児童生徒に対応するため、アレルギー調理室を完全個室として設置。 ④ 食育に配慮するため、下処理室・調理室内を広く見学できるよう2階に研修室を配置。 <p>施設の概要</p> <p>【構 造】鉄骨造一部2階建 【床 面 積】749.98㎡ 【敷地面積】5,385.44㎡ 【厨房方式】ドライシステム方式</p>	

<h2>真滝学校給食センター</h2>	〒029-0132 一関市滝沢字水口103-63 TEL : 21-1320 FAX : 21-1321 E-mail : matakikyu@city.ichinoseki.iwate.jp	所 長 : 千 葉 一 枝 職 員 等 : 職員 3 人、委託 21 人 配食校数 : 7 校 調理能力 : 1,600食
	<p>現在の供給校 一関小学校・南小学校・滝沢小学校・弥栄小学校・舞川小学校・ 一関東中学校・舞川中学校</p> <p>魅力ある食事の工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 栄養バランスのとれた食事内容とし、健康の保持増進を図る。 ② 地場産品を取り入れた献立の実施。 ③ 郷土食・行事食の実施（年間を通じた行事に合わせて提供します）。 ④ リクエスト給食の実施（学校ごと及び小学 6 年生・中学 3 年生のリクエスト）。 	
<p>沿 革</p> <p>平成22年 4 月19日 一関地域の滝沢小学校、弥栄小学校、一関中学校、一関東中学校、桜町中学校、舞川中学校、川崎地域の薄衣小学校、門崎小学校、川崎中学校の 9 つの小中学校に学校給食を開始（約1,600食）。</p> <p>平成24年 4 月 平泉町からの要望により、平泉町立平泉中学校に学校給食を供給開始。</p> <p>平成27年 4 月 平成26年度までの自校給食校の一関小学校、中里小学校、舞川小学校に供給を開始。川崎小学校、川崎中学校が千厩学校給食センターからの供給に変更。一関中学校、桜町中学校が花泉学校給食センターからの供給に変更。中里小学校、平泉中学校が西部第二学校給食センターからの供給に変更。</p> <p>平成28年 4 月 平成27年度まで自校給食校の南小学校に供給を開始。</p>	<p>施設の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施設内の厨房機器や空調はオール電化方式を採用。 ② より衛生的で安全性が高い調理システムを導入し、働く人にとっても快適で作業効率の良い環境を整備。 <p>施設の概要</p> <p>【構 造】 鉄骨造一部 2 階建 【敷地面積】 4,374.82㎡ 【床 面 積】 993.85㎡ 【厨房方式】 ドライシステム方式</p>	

<h2>花泉学校給食センター</h2>	〒029-3205 一関市花泉町涌津字松子沢21 TEL : 82-3615 FAX : 82-3357 E-mail : hanakyu@city.ichinoseki.iwate.jp	所 長 : 小野寺 邦 芳 職 員 等 : 職員 3 人、委託 18 人 配食校数 : 10 校 調理能力 : 1,950食
	<p>○現在の供給校 永井小学校、涌津小学校、油島小学校、花泉小学校、老松小学校、金沢小学校、黄海小学校、花泉中学校、一関中学校、桜町中学校</p> <p>○表彰履歴</p> <p>平成28年 1 月 8 日 岩手県学校給食センター協議会長表彰（調理コンクール）</p> <p>平成28年 10 月 15 日 全国学校給食甲子園実行委員会表彰（第11回全国給食甲子園）</p> <p>平成30年 7 月 28 日 厚生労働大臣表彰（栄養関係功労者表彰）</p>	
<p>沿 革</p> <p>昭和48年 4 月 花泉町老松地内に「花泉町立学校給食センター」を開設し、町内の小中学校に給食を配食（直営）。給食輸送車 3 台配車。</p> <p>平成 2 年 4 月 調理業務を民間会社（株式会社メフォス）に委託。</p> <p>平成13年 3 月 花泉町涌津字松子沢地内に完全ドライ方式の「花泉町立学校給食センター」を移転新築。</p> <p>平成20年 4 月 給食会計を「公会計」から「私会計」に移行。</p> <p>平成24年 4 月 給食配食校を花泉町内の小中学校（8校）と藤沢町内の小中学校（4校）を加え、1,908食を供給。</p> <p>平成25年 4 月 給食配食校が花泉町内の小中学校と藤沢町黄海小学校に変更になり、1,300食を供給。調理業務委託先の変更（一富士フードサービス株式会社）</p> <p>平成26年 4 月 厨房内の空調設備・ボイラー・配管の更新工事を行う。</p> <p>平成27年 4 月 給食配食校に新たに一関中学校・桜町中学校が加わり、1,853食を供給。新たに給食配送車 2 台を増車し、5 台を保有。</p> <p>平成31年 4 月 調理業務委託先の変更（株式会社 東洋食品）</p> <p>令和 4 年 4 月 調理業務委託先の変更（株式会社 メフォス）</p>	<p>○魅力ある食事の工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地元食材を積極的に使用しています。 ② 希望献立&セレクト給食：希望献立は、献立作成の留意点を押さえた後、各学校で考案した献立を給食で提供している。また、「セレクト給食」は卒業祝いの意味を込め 6 年生を対象に実施している。 ③ アンコール給食（中学校） 中学校 3 年生を対象に「卒業おめでとう。」の気持ちを込めて、もう一度食べたい献立を募り、1～3 月に取り入れている。その際、給食の思い出なども記録してもらい情操教育の一助としている。 <p>○施設の概要</p> <p>【構 造】 鉄骨造一部 2 階建 【敷地面積】 3,256.66㎡ 【建築面積】 871.90㎡ 【床 面 積】 841.50㎡ 【厨房方式】 ドライシステム方式</p>	

<h2>大東学校給食センター</h2>	〒029-0523 一関市大東町摺沢字上塚ノ沢37-1 TEL: 75-2774 FAX: 75-2789 E-mail: daikyu@city.ichinoseki.iwate.jp	所長: 菅原春彦 職員等: 職員3人、委託17人 配食校数: 9校 1施設 調理能力: 2,000食			
 <p>沿革</p> <p>平成20年4月1日 従来の大原、摺沢、興田及び東山学校給食センターを一本化し、合併後の一関市で初めて旧町村枠を超えた施設として開設 当初は大原小、内野小、摺沢小、興田小、猿沢小、洪民小、曾慶小、長坂小、田河津小、松川小、大原中、大東中、興田中、猿沢中、東山中、内野保育園、摺沢幼稚園、丑石児童館の15校、3施設に供給</p> <p>平成26年4月 学校統合等により、大原小、大東小、興田小、猿沢小、東山小、大原中、大東中、興田中、東山中の9校と摺沢幼稚園に供給</p>	<p>魅力ある食事の工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地元食材を積極的に使用している。 ② 郷土料理や行事食を取り入れ、地域性のある献立にしている。 ③ 季節の行事に合わせた食事やデザートを提供している。 <p>学校との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 6月の食育月間に合わせて、調理作業の様子がわかる掲示資料やDVDを配布している。 ② 学級担任や給食担当者と連携し、児童生徒の実態に合わせた食に関する指導を行っている。 ③ 生産者が学校を訪問し、子ども達と一緒に給食を食べる「生産者交流会」を実施している。食材を育てる大変さや生産者の思いを知ることによって、生産者や給食への感謝と理解が深まる。 ④ 子ども達が給食センターを訪問し、調理作業の見学を行っている。 <p>施設の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ドライシステム、交差のない動線を採用し衛生的な環境。 ② 施設内の厨房機器や空調などはオール電化方式を採用することにより衛生的で安全性が高く、働く人にも快適な環境。 ③ 夜間電力利用の氷蓄熱式空調システムと大型電気温水器を利用し経費削減を図っている。 <p>施設の概要</p> <table border="0"> <tr> <td>【構造】鉄骨造一部2階建</td> <td>【延床面積】991.58㎡</td> </tr> <tr> <td>【敷地面積】6,159㎡</td> <td>【厨房方式】ドライシステム方式</td> </tr> </table>	【構造】鉄骨造一部2階建	【延床面積】991.58㎡	【敷地面積】6,159㎡	【厨房方式】ドライシステム方式
【構造】鉄骨造一部2階建	【延床面積】991.58㎡				
【敷地面積】6,159㎡	【厨房方式】ドライシステム方式				

<h2>千厩学校給食センター</h2>	〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場290-1 TEL: 51-3066 FAX: 51-3067 E-mail: senkyu@city.ichinoseki.iwate.jp	所長: 橋本雅郎 職員等: 職員3人、委託23人 配食校数: 11校 調理能力: 2,200食			
 <p>沿革</p> <p>平成25年4月1日 従来の中厩及び室根学校給食センターを一本化し、新たに千厩学校給食センターとして開設。 千厩小学校、小梨小学校、清田小学校、奥玉小学校、磐清水小学校、岩手県立一関清明支援学校千厩分教室小学部、室根東小学校、室根西小学校、藤沢小学校、新沼小学校、千厩中学校、岩手県立一関清明支援学校千厩分教室小学部、室根中学校、藤沢中学校の14校に供給。</p> <p>平成27年4月 川崎小学校、川崎中学校を加えた16校に供給。</p> <p>平成30年4月 千厩小学校、小梨小学校、清田小学校、奥玉小学校、磐清水小学校が統合した新千厩小学校の開校により、12校に供給。</p> <p>令和4年4月 室根東小学校、室根西小学校が統合した室根小学校の開校により、11校に供給。</p>	<p>魅力ある食事の工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地元食材を積極的に使用している。 ② 季節にあったメニューと合わせ、季節行事にこだわった食事やデザートを提供している。 ③ 多様な食材を使用し、栄養価を高め、いろいろな味にふれ、味覚の幅を広げるとともに、児童生徒の食べやすさを考慮した調理方法や味付けをしている。 <p>学校との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 栄養教諭が学校を訪問し、子ども達と一緒に給食を食べながら食事の重要性や学校給食の献立の考え方などを学習する「ふれあい給食」を実施している。 ② 児童生徒の食への興味関心を深め、知識や自分で選択する力を高めるため、学級担任と連携した食の授業を行っている。 <p>施設の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ドライシステムを採用した衛生的な環境。 ② 施設内の厨房機器や空調などはオール電化方式を採用、衛生的で安全性が高く、働く人にも快適な環境。 <p>施設の概要</p> <table border="0"> <tr> <td>【構造】鉄骨造一部2階建</td> <td>【延床面積】1,104.33㎡</td> </tr> <tr> <td>【敷地面積】5,944㎡</td> <td>【厨房方式】ドライシステム方式</td> </tr> </table>	【構造】鉄骨造一部2階建	【延床面積】1,104.33㎡	【敷地面積】5,944㎡	【厨房方式】ドライシステム方式
【構造】鉄骨造一部2階建	【延床面積】1,104.33㎡				
【敷地面積】5,944㎡	【厨房方式】ドライシステム方式				

VI 各種委員会

1 一関市中学生の社会体験学習実行委員会

氏 名	所 属 ・ 職 名	
船 山 賢 治	一 関 商 工 会 議 所	業 務 課 長
村 上 友 善	一 関 商 工 会 議 所 東 山 支 所	支 所 長
佐 藤 高 広	一 関 商 工 会 議 所 川 崎 支 所	支 所 長
小 野 寺 正 寿	一 関 市	商 工 労 働 部 次 長 兼 工 業 労 政 課 長
三 浦 洋	一 関 市	商 工 労 働 部 次 長 兼 観 光 物 産 課 長
小 野 寺 淳 子	一 関 市	労 政 係 長
金 野 馨	ジ ョ ブ カ フ ェ ー 一 関	セ ン タ ー 長
下 田 和 子	ジ ョ ブ カ フ ェ ー 一 関	就 職 ア ド バ イ ザ ー
鈴 木 理 香	ジ ョ ブ カ フ ェ ー 一 関	就 職 ア ド バ イ ザ ー
瀧 野 澤 徹	磐 井 中 学 校	校 長
羽 柴 隆 之	一 関 中 学 校	校 長
佐 々 木 晋	大 東 中 学 校	校 長
吉 川 直 樹	磐 井 中 学 校	P T A 代 表
氏 家 永 士	一 関 中 学 校	P T A 代 表
岩 渕 元 希	大 東 中 学 校	P T A 代 表
小 菅 正 晴	一 関 市 教 育 委 員 会	教 育 長

<事務局>

氏 名	所 属 ・ 職 名	
菅 原 正 樹	一 関 市 教 育 委 員 会	教 育 部 次 長 兼 学 校 教 育 課 長
南 浦 元	一 関 市 教 育 委 員 会	学 校 教 育 課 主 幹
千 葉 寧	一 関 市 教 育 委 員 会	学 校 教 育 課 主 幹 兼 学 校 教 育 係 長
千 葉 真	一 関 市 教 育 委 員 会	主 任 指 導 主 事
小 野 寺 聖 子	一 関 市 教 育 委 員 会	指 導 主 事
久 保 木 賢	一 関 市 教 育 委 員 会	指 導 主 事
片 沼 光 輝	一 関 市 教 育 委 員 会	指 導 主 事
八 重 樫 陽 子	一 関 市 教 育 委 員 会	指 導 主 事
菊 池 和 裕	一 関 市 教 育 委 員 会	指 導 主 事 (担 当)

2 一関市就学支援委員会

(1) 目的

特別な教育的支援を必要とする就学予定者、児童、生徒（以下「要支援児等」という）について適切な教育的対応を行うため。

(2) 業務

① 要支援児等の障がいの程度について専門的な検査診断を行い、特別支援学校又は特別支援学級への就学または入級に係る適正な判断を行うこと。

② 要支援児等に対する教育的対応について、適切な相談、助言及び支援を行うこと。

(3) 委員

	分類	所属	職名	氏名	備考
1	病院	岩手病院	医師	平野 貞夫	委員
2		南光病院	院長	稲富 浩	委員
3	特別支援学校	一関清明支援学校	副校長	金 濱 基	委員
4			教諭	小笠原 志律	委員・調査員
5			教諭	小野寺 貴子	委員・調査員
6			教諭	小野寺 伸	委員・調査員
7	関係機関【市】	一関子育て支援センター	主 事	田 村 真理恵	委員
8		一関子育て支援センター	療育指導員	小野寺 久美	調査員
9		一関子育て支援センター	療育指導員	佐藤 千萩	調査員
10		一関子育て支援課	保健師	安田 雪乃	委員・調査員
11		一関子育て支援センター	幼児期特別支援コーディネーター	細川 彩子	委員・調査員
12		一関子育て支援センター	幼児期特別支援コーディネーター	館 澤 暁美	委員・調査員
13		花泉支所保健福祉課	保健師	小野寺 愛	調査員
14		大東支所保健福祉課	保健師	佐藤 綾香	調査員
15		千厩支所保健福祉課	保健師	千葉 亮宗	調査員
16		東山支所保健福祉課	課長補佐兼保健係長	佐藤 純子	調査員
17		室根支所保健福祉課	保健師	松岡 友美	調査員
18		川崎支所保健福祉課	保健係長	伊東 幸子	調査員
19	藤沢支所保健福祉課	保健主査	千葉 綾子	調査員	
20	幼稚園	巖美幼稚園	園 長	小山 範輝	委員
21	小中学校 (校長)	山目小学校	校 長	菊池 正人	副委員長
22		花泉小学校	校 長	山内 弘文	委員
23		千厩小学校	校 長	長山 政志	副委員長
24		東山小学校	校 長	伊東 洋司	委員
25		舞川中学校	校 長	野原 勝博	委員
26	小中学校 (教諭)	山目小学校	教 諭	金野 住代子	調査員
27		山目小学校	教 諭	吉田 涼子	調査員
28		南小学校	教 諭	紫原 真由美	調査員
29		大原小学校	教 諭	鈴木 昇	調査員
30		大東小学校	教 諭	伊藤 さゆり	調査員
31		東山小学校	教 諭	植村 美栄子	調査員
32		室根小学校	教 諭	石川 幸子	調査員
33		藤沢小学校	教 諭	千葉 尋美	調査員
34		一関市教育委員会	特別支援教育コーディネーター	高橋 由紀子	調査員

事務局	一関市 教育委員会	教育部次長兼学校教育課長	菅原 正樹	
		主任指導主事	千葉 和真	一関地域担当(小学校)
		指導主事	菊池 聖裕	一関地域担当(中学校)
		指導主事	小野寺 聖子	花泉地域担当
		指導主事	久保木 賢	大東地域担当
		指導主事	片沼 光輝	室根・藤沢地域担当
		指導主事	八重樫 陽子	千厩・東山・川崎地域担当
		特別支援コーディネーター	佐藤 伸哉	西地区担当
特別支援コーディネーター	須藤 壽弘	東地区担当		

3 一関市生徒指導推進連絡協議会

(1) 目的

児童生徒の健全育成と非行防止の強化を図ることを目的とする。

(2) 事業

- ① 児童生徒の健全育成と非行防止に関する情報交換、研究協議、研修及び推進体制の整備等を行う。
- ② 健全育成対策と非行防止の調査研究に関すること。
- ③ その他目的達成のために必要な事業に関すること。

(3) 構成員

【顧問】

一関市教育委員会	教育長	小菅正晴
一関警察署	署長	上野太郎
千厩警察署	署長	古里正博

【委員】

組織名	役職	所属	職名	氏名
一関地域学校警察連絡協議会	会長	巖美中学校	校長	佐藤幸雄
花泉地域生徒指導連絡協議会	会長	花泉中学校	校長	奥田昌夫
大東地域生徒指導連絡協議会	会長	大東中学校	校長	佐々木晋
千厩地域生徒指導連絡協議会	会長	千厩中学校	校長	箱山智美
東山地域生徒指導・学校警察連絡協議会	会長	東山中学校	校長	佐藤勉
室根地域学校警察等連絡協議会	会長	室根中学校	校長	加藤建一
川崎町生徒指導連絡協議会	会長	川崎中学校	校長	眞島繁明
藤沢地域生徒指導連絡協議会	会長	藤沢中学校	校長	廣澤正紀
県南生徒指導連合会	会長	一関学院高等学校	校長	小野寺啓一
所属		職名・氏名		
一関警察署	生活安全課長	阿部寿之		
千厩警察署	生活安全課長	伊藤佳代		
県南教育事務所	在学青少年指導員	加藤清		
一関市教育委員会	教育部次長兼学校教育課長	菅原正樹		

【事務局】

組織名	役職	所属	職名	氏名
一関地域学校警察連絡協議会	事務局長	巖美中学校	副校長	佐藤浩之
花泉地域生徒指導連絡協議会	事務局長	花泉中学校	教諭	仙内弘
大東地域生徒指導連絡協議会	事務局長	大東中学校	副校長	小野寺賢嗣
千厩地域生徒指導連絡協議会	事務局長	千厩中学校	副校長	佐々木広一
東山地域生徒指導・学校警察連絡協議会	事務局長	東山中学校	副校長	村上花恵
室根地域学校警察等連絡協議会	事務局長	室根中学校	副校長	那須聡
川崎町生徒指導連絡協議会	事務局長	川崎中学校	副校長	楠美富栄
藤沢地域生徒指導連絡協議会	事務局長	藤沢中学校	副校長	菅野太郎
県南生徒指導連合会	事務局長	一関学院高等学校	教諭	服部良一
所属		職名・氏名		
一関市教育委員会	教育部次長兼学校教育課長	菅原正樹		
	学校教育課主任指導主事	千葉真		
	学校教育課指導主事	菊池和裕		
	学校教育課指導主事	久保木賢		

4 一関市いじめ問題対策連絡協議会

(1) 目的

いじめの防止等（いじめ防止、いじめの早期発見及びいじめの対処）に関する関係機関の連携推進を図るため、一関市いじめ問題対策連絡協議会を設置する。

(2) 所掌事務

- ① いじめの防止等に係る情報共有に関すること。
- ② いじめの防止等に係る関係機関等の連絡の推進に関すること。
- ③ その他いじめの防止等に関し必要と認める事項に関すること。

(3) 委員

所 属	職 名	氏 名	備 考
一 関 児 童 相 談 所	主 任 児 童 福 祉 司 員 兼 児 童 指 導 員	薄 木 美 由 紀	
盛 岡 法 務 局 水 沢 局	総 務 課 長	安 彦 弘 喜	
一 関 警 察 署	生 活 安 全 課 長	阿 部 寿 之	
千 厩 警 察 署	生 活 安 全 課 長	伊 藤 佳 代	
涌 津 小 学 校	校 長	千 葉 芳 恵	
巖 美 中 学 校	校 長	佐 藤 幸 雄	
県 南 教 育 事 務 所	指 導 主 事	太 田 和 成	
県 南 教 育 事 務 所	在 学 青 少 年 指 導 員	加 藤 清	
一 関 市 保 健 福 祉 部	次 長 兼 子 育 て 支 援 課 長 兼 一 関 子 育 て 支 援 セ ン タ ー 長	菅 原 恵 美	
一 関 市 教 育 委 員 会	教 育 長	小 菅 正 晴	
一 関 市 教 育 研 究 所	教 育 相 談 員	門 間 健 一	
一 関 市 教 育 研 究 所	教 育 相 談 員	及 川 輝 美	

【事務局】

所 属	職 名	氏 名	備 考
一 関 市 教 育 委 員 会	教 育 部 次 長 兼 学 校 教 育 課 長	菅 原 正 樹	
	主 任 指 導 主 事	千 葉 真	
	指 導 主 事	菊 池 和 裕	
	指 導 主 事	久 保 木 賢	

5 一関市学校給食センター運営委員会

市内学校給食センターを適正かつ円滑に運営するため、保護者代表・学校長・学識経験者を委員として委嘱し、学校給食に係る運営全般、衛生管理、食育、地産地消などの諸問題について情報交換を行い、各地域との相互連携を図りながら、望ましい学校給食のあり方を協議する。

一関市学校給食センター運営委員名簿（令和4年度～令和5年度）

（順不同・敬称略）

No.	氏名	所属	区分
1	中村 匡	菽荘小学校長	西部給セ 校長代表
2	高原 智康	菽荘中学校長	西部第二給セ 校長代表
3	及川 宇雄	舞川小学校長	真滝給セ 校長代表
4	千葉 芳恵	涌津小学校長	花泉給セ 校長代表
5	佐々木 晋	大東中学校長	大東給セ 校長代表
6	吉田 博昭	藤沢小学校長	千厩給セ 校長代表
7	澤田 直哉	磐井中学校PTA会長	西部給セ 保護者代表
8	浅野 裕美	赤荻小学校PTA会長	西部第二給セ 保護者代表
9	佐藤 雅樹	舞川中学校PTA会長	真滝給セ 保護者代表
10	菅原 芳久	花泉中学校PTA会長	花泉給セ 保護者代表
11	伊東 達也	興田中学校PTA会長	大東給セ 保護者代表
12	鈴木 真一	室根中学校PTA会長	千厩給セ 保護者代表
13	渡邊 美紀子	修紅短期大学食物栄養学科学科長 准教授	学識経験者
14	佐藤 律子	一関市食生活改善推進員協議会 会長	学識経験者
15	葛西 典子	一関保健所環境衛生課 主任主査	学識経験者
16	板井 直之	県南教育事務所 指導主事	学識経験者
17	菅野 ゆう子	一関市農林部地産地消・外商課 課長補佐兼地産地消・外商係長	学識経験者

※ 任期：令和6年3月31日まで

6 一関市幼・小・中・高・特・高専・大学校運営推進協議会

(1) 目的

一関市の幼稚園の園長、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、工業高等専門学校校長、及び大学の学長等が、それぞれの教育の諸問題について情報を交換するとともに、共通の課題を明らかにし、その解決の方策を協議することにより、地域における一貫した教育の推進体制の充実に資する。

(2) 所掌事項

推進協議会は、学校教育に関する情報交換、研究協議、研修及び推進体制の整備等を行う。

- ① 豊かな心を育成する道徳教育の充実に関すること。
- ② 健全な個性の育成を図る生徒指導の改善に関すること。
- ③ 学力向上を図る学習指導の改善に関すること。
- ④ 体位・体力の向上及び健康教育の推進に関すること。
- ⑤ その他学校教育に関すること。

(3) 役員・運営委員

役 職	氏 名	職 名
会 長	渡 邊 淳	一関小学校長
副 会 長	北 村 正 俊	桜町中学校長
	里 舘 文 彦	一関第一高等学校長
運 営 委 員	菅 原 裕 子	カトリック清心幼稚園
	千 葉 敏 之	赤荻幼稚園長
	荒 木 信 夫	一関工業高等専門学校長
	千 葉 正	修紅短期大学長

7 一関市奨学生選考委員会

一関市奨学金は、一関市に住所を有する者の子女であって、高等学校以上の学校に在学し、経済的な理由により就学が困難な者に対し一関市奨学金を貸与し、人材を育成することを目的とする。

- (1) 奨学金の額
- | | |
|--------------|------------|
| 高等学校等に在学する者 | 月額 12,000円 |
| 高等専門学校に在学する者 | 月額 20,000円 |
| 大学等に在学する者 | 月額 45,000円 |

- (2) 令和4年度の貸与の状況（令和4年6月1日現在）

※基準日時点において募集中のものは含まれていない。

区 分	高校生等(人)	高 専 生(人)	大学生等(人)	計 (人)
新 規	2	1	25	28
継 続	15	2	90	107
計	17	3	115	135

- (3) 奨学生選考委員会委員

委 員 長	北 村 正 俊	委 員	佐 藤 親 幸
委員長職務代理者	高 原 智 康	委 員	伊 師 みゆき
委 員	里 舘 文 彦	委 員	岩 本 孝 彦
委 員	小野寺 啓 一		

VII 令和4年度 一関市教育研究所の運営について

1 運営方針

- 1 本市における教育課題に対応した調査研究や、教員の資質・能力の向上、学力向上の取り組みへの指導・助言などの学力向上推進事業を行うことにより、本市の学力の向上に努める。
- 2 児童生徒の学校適応を図るための教育実践や教育相談事業、各園・各校と連携した指導・援助などの教育相談事業を行うことにより児童生徒の健全育成に努める。
- 3 教育の今日的課題や授業の改善に対応した研究・研修を行うことにより、教員の資質向上と指導力の育成に努める。
- 4 教育に関する資料の収集・整備・保存や教育情報発行等の充実に努め、研究・研修活動に対する資料提供に努める。

2 運営の重点

- 1 本市における教育課題等に係る調査・研究・実践の推進
- 2 教員の資質・能力の向上、学力向上推進対策の助言・指導・支援
- 3 児童生徒の不登校等の学校不適応や生徒指導上の課題に係る実態把握・助言・指導・支援
- 4 わかる授業づくりに関する研修（講演会、拡大校内研等）の実施

3 運営組織

1 運営委員会

- (1) 運営委員は、9名とし、教育委員会がこれを委嘱する。
- (2) 運営委員会は、必要に応じ開催し、所長より提案された事項について協議し、運営委員会の意見を集約して具申する。

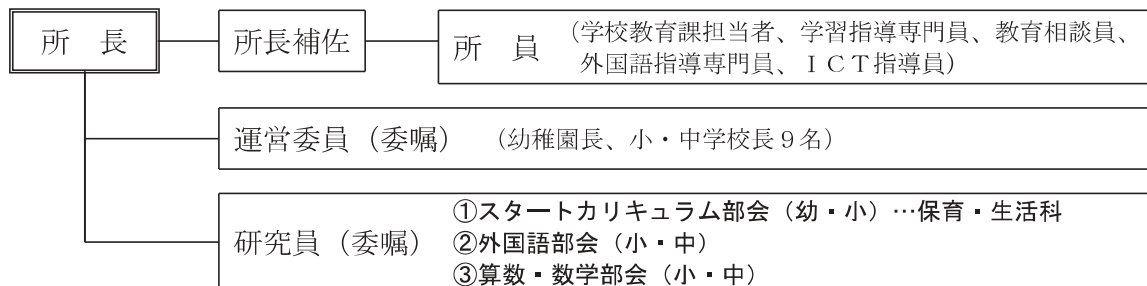
2 研究所員

- (1) 研究所員は以下の担当者で構成する。
 - ア 所長：学校教育課長
 - イ 所長補佐：学習専門員または教育相談員から1名
 - ウ 所員：学校教育課担当者、学習指導専門員、教育相談員、外国語指導専門員、ICT指導員
- (2) 研究所担当指導主事が研究所の主務にあたる。

3 研究員

- (1) 部会を設定し、研究員による研究活動を行う。（R4年度3部会）
- (2) 研究員は、部会に必要な人数を募集し、教育委員会がこれを委嘱する。
- (3) 研究員は、所長の命を受け、教育に関する専門的・技術的事項の研究に従事する。
- (4) 研究員は、各園、各学校の教育実践に役立てるため、必要に応じて実証的研究を行い、その結果を研究授業や研究報告書等をもって提示する。

4 組織・機構図



4 運営の方針及び重点に基づく各事業内容

1 調査研究の推進と学力向上・指導力向上に関する指導助言【学習指導専門員担当事業】

- (1) 全国学力・学習状況調査、岩手県学習状況調査、C R T等により児童生徒の学習の定着状況を的確に把握するとともに、児童生徒の学習の定着状況に応じた指導方法の工夫改善に取り組む。
 - ・知能検査、C R Tの実施
 - ・学力向上に関する資料作成
- (2) 各学校を訪問し、授業参観を通しての指導・助言や各学校の学力向上の取り組みへの指導・助言を行う。
 - ・学力向上推進事業

2 学校適応と教育相談等の充実【教育相談員担当事業】

- (1) 児童生徒の不登校等学校不適応に関する実態を把握し、その解決に向けた教育実践に取り組む。
- (2) 不登校等学校不適応に関する教育相談事業の充実を図る。
 - ・子ども悩みごと教育相談
 - ・自然体験活動
 - ・適応支援教室「たんぼぼ広場」の開設
 - ・適応支援相談員会議の開催
- (3) 児童相談所、特別支援学校、警察等関係機関との連携を図る。

3 教員の資質向上と指導力育成【研究所事務局（指導主事）担当事業】

- (1) 本市における教育課題及び教育の今日的課題に対応した研究員研究を行う。
 - ① スタートカリキュラム部会（幼・小）
 - ② 外国語部会（小・中）
 - ③ 算数・数学部会（小・中）
- (2) 教育の今日的課題に対する見識を高めるために教育講演会を実施する。
- (3) 拡大校内研究会を継続する。

4 教育情報の提供、資料の整備

- (1) 教育実践「いちのせき」、研究報告書等を作成し、研究の成果を広めることに努める。
- (2) 日常の教育実践及び学校における教育研究推進に役立つよう研究資料の収集、整備、提供等のサービスに努める。

5 令和4年度事業計画

月	運営委員会	学力向上推進事業	教育相談事業	研究員研究	研修会	拡大校内研	諸検査	その他
4	第1回	学力向上資料配布 学校訪問開始 各校の学力向上対策提出	たんぼぼ広場開設 悩みごと教育相談 学校訪問開始				知能検査	
5				研究員会議		一覧表配布		研究所連盟総会
6		学びの相談会	適応支援相談員会議	研究部会(随時)		参加(随時)		
7		学びの相談会	夏季自然体験活動					
8								
9			秋季自然体験活動					研究所連盟研修会
10								
11			適応支援相談員会議					
12							CRT	
1	第2回	教育実践いちのせき17号		成果物公表	研修会			
2								県研究発表大会

6 各事業計画

1 学力向上推進事業（学習指導専門員）

- (1) 各学校の「学力向上推進対策」並びに授業参観を通して「構造的板書とテンポよい授業」等に関する各担任・教科担任等への助言・指導
- (2) 学力向上に関する資料並びに調査・研究に関する資料作成

2 教育相談事業（教育相談員）

- (1) 子ども悩みごと教育相談
 - ・窓口相談（「悩みごと相談電話」の設置、電話・来所・訪問による相談）
 - ・訪問相談（各小中学校に年間4回訪問、支援を必要とする小中学校に随時）
- (2) 自然体験活動（年2回実施）
- (3) 適応支援教室「たんぼぼ広場」の開設（週2日、火・木 9:00～12:00）
- (4) 適応支援相談員会議（年2回実施）

3 研究員研究（予定）

- (1) スタートカリキュラム部会
 - ア 目的 幼小連携の充実をはかるため、スタートカリキュラムを活用した連携の在り方や指導の工夫を研究し、実践事例を紹介する。
 - イ 構成 幼稚園教諭3名、小学校教諭3名（低）
- (2) 外国語部会
 - ア 目的 小学校外国語の実態を踏まえた小中の円滑な連携を図るため、指導の工夫や小中連携の在り方について研究し、小中の実践交流を図り紹介する。
 - イ 構成 小学校教員3名、中学校教員3名
- (3) 算数・数学部会
 - ア 目的 定着に結びつく習熟の時間の在り方を研究し、実践事例を紹介する。
 - イ 構成 小学校教員3名、中学校教員3名

4 研修会

- (1) 目的 市内幼稚園・こども園・小学校・中学校の教職員を対象に、教育の今日的課題に対する見識を高める立場から講演等を実施し、教職員の資質の向上に資する。
- (2) 日時 令和5年1月6日(金) 13時30分～16時30分(予定)
- (3) 会場 一関文化センター大ホール
- (4) 対象 市立幼稚園・こども園・小学校・中学校教職員、教育関係者
- (5) 内容
 - ・教育長講話
 - ・部会研究発表(3部会×各10分=30分)
 - ・講演(アドラー心理学を基にした子ども理解に関する内容)

5 拡大校内研究会の継続

- (1) 目的 他校の教員に広く授業公開することで、校内研修を活性化させるとともに、市内の教員の資質向上と指導力向上及び校種連携を図る。
- (2) 概要
 - ・各園、各校における研究会のうち、指導主事派遣事業を拡大校内研として位置付ける。
 - ・拡大校内研案内(5月に年間一覧表を配布)で実施学校、学年、教科、授業者を周知する。
 - ・申込みは当該校間で行う。

6 諸検査

- (1) 知能検査
 - ア 期日 4月(4/7～4/22の期間で実施)
 - イ 対象 小学校第2学年・第5学年、中学校第1学年
- (2) CRT
 - ア 期日 12月(12/1～12/15の期間で実施)
 - イ 対象 小学校第1学年～第6学年(国語・算数)
 - ウ その他
 - ・採点処理は、業者に委託
 - ・各学校では、検査結果を分析し、年度内の指導に生かす。

7 研究刊行物

- ・教育実践「いちのせき」17号

